

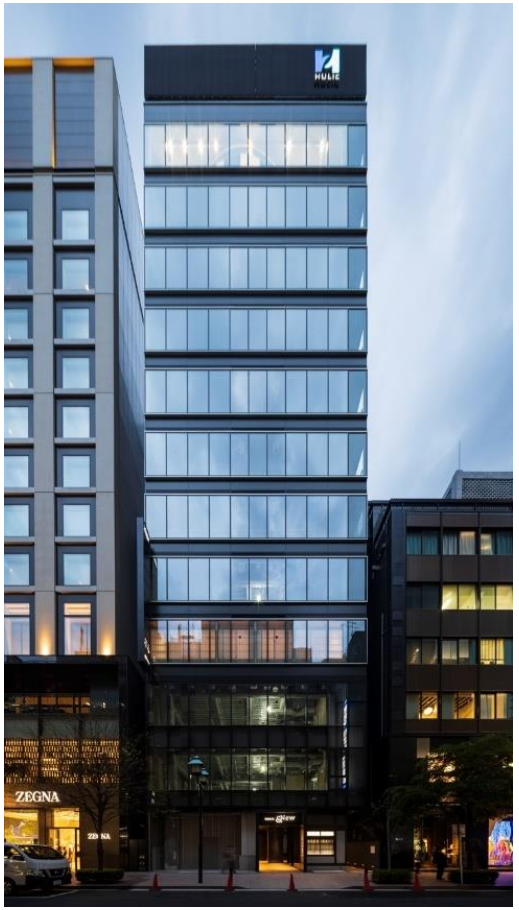
ヒューリックロジスティクス葛西
(2022年5月竣工)

2022年7月28日

2022年12月期 第２四半期
決算説明資料

ヒューリック株式会社

証券コード 3003



HULIC &New GINZA NAMIKI 6
(2022年5月竣工)

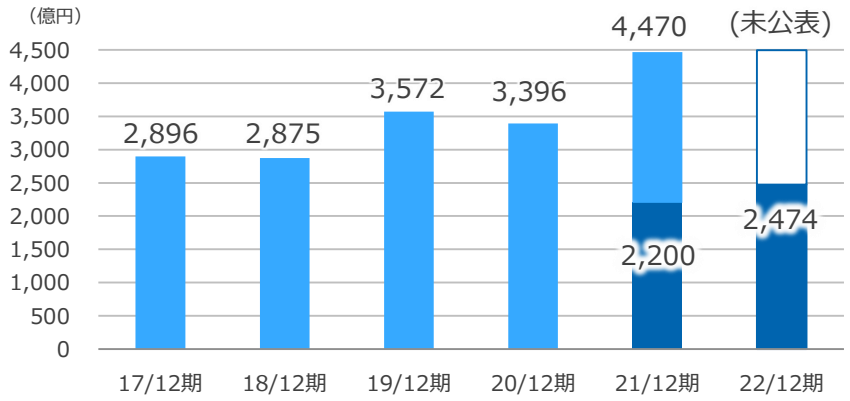
目次

頁	項目
決算概要	
2	業績推移
3	株価指標・株主還元
4	業績概要
5	セグメント別業績
6	損益計算書
7	貸借対照表
8	資金調達
9	財務基盤
10	賃貸等不動産の含み損益
11	株主還元
12	中長期経営計画の進捗
13	2022年度計量計画（フェーズⅠ最終年度）
中長期計画（2020-2029年）	
14	目指す姿・基本方針・基本戦略
15	賃貸ポートフォリオの再構築
16	脱炭素・高耐震による競争優位性の向上
17	空室率・平均賃料推移
18	賃貸ポートフォリオの再構築の進捗
19-20	ポートフォリオの概観
21	固定資産の取得
22	CRE事業による物件取得
23	販売用不動産の取得と売却
24-32	開発・建替、バリューアッド事業
24-31	開発・建替事業
32	バリューアッド事業
33-37	独自性のある新規事業領域
33	高齢者・健康ビジネス
34	観光ビジネス
35	こども教育事業
36	中規模フレキシブルオフィス「Bizflex」
37	プレミアムクラブ・ボードルーム
38-41	サステナビリティの取り組み
＜参考資料＞	
43-45	マクロ環境
46-62	会社プロフィール

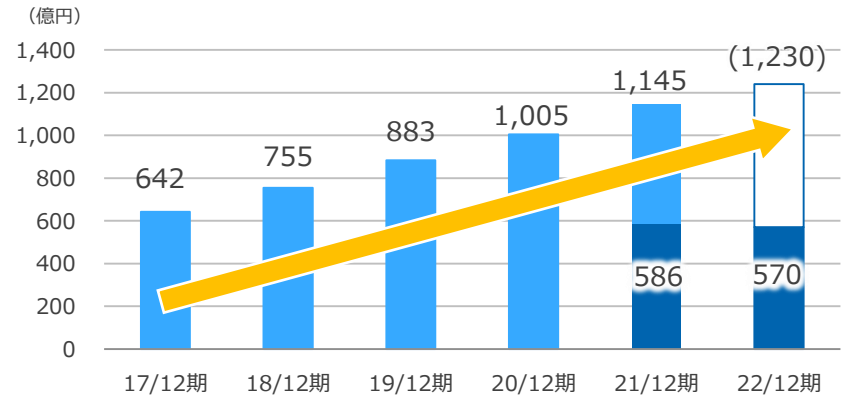
業績推移《連結》

第2四半期ベースで増収増益、かつ、経常利益・当期純利益は既往ピーク

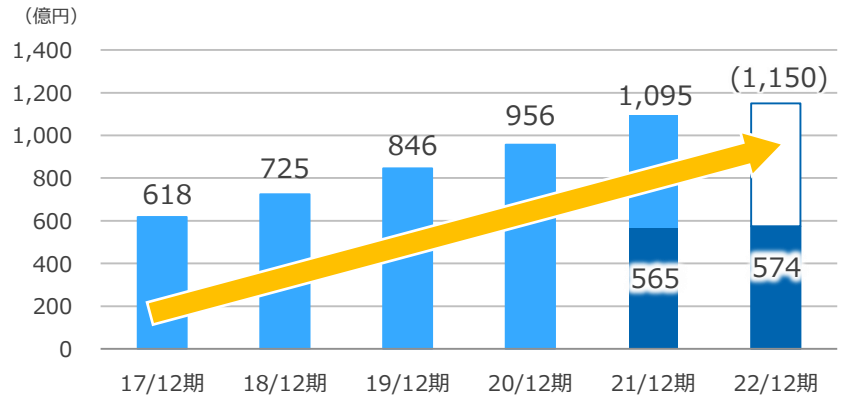
営業収益（売上高）



営業利益

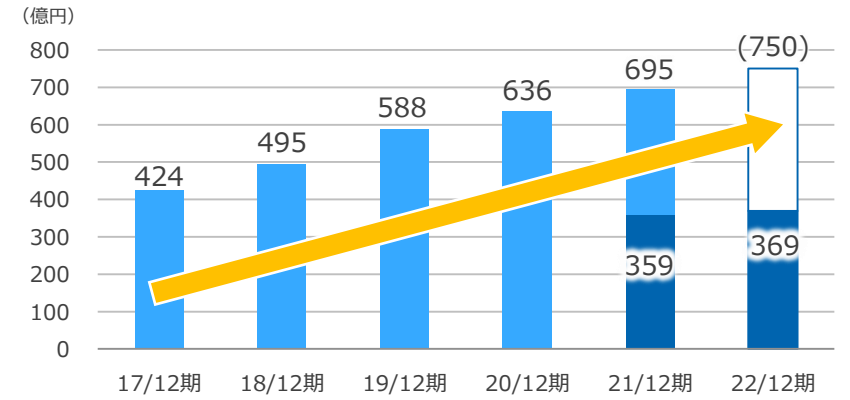


経常利益



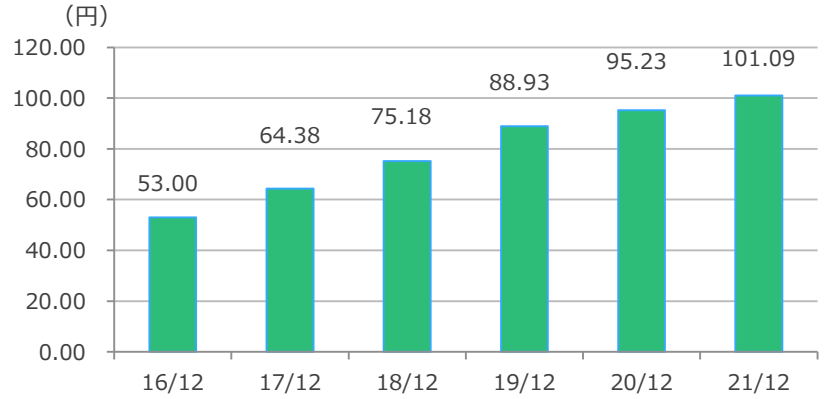
予想対比
進捗率50%

当期純利益

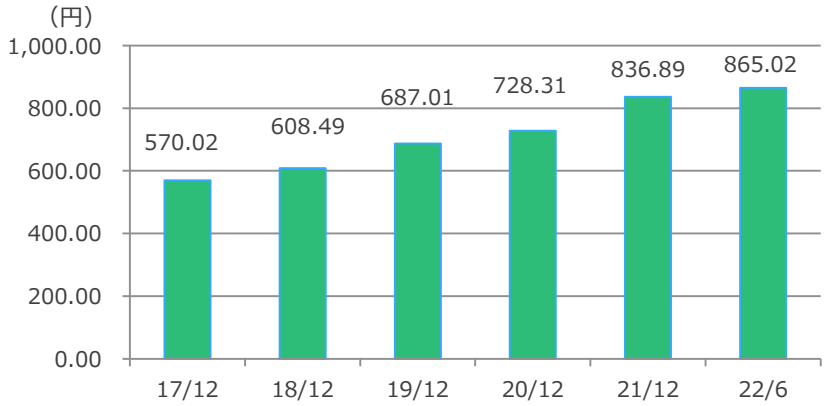


EPS/BPSは利益成長により増加。増配を通じた安定的株主還元を実施

1株当たり当期純利益（EPS）

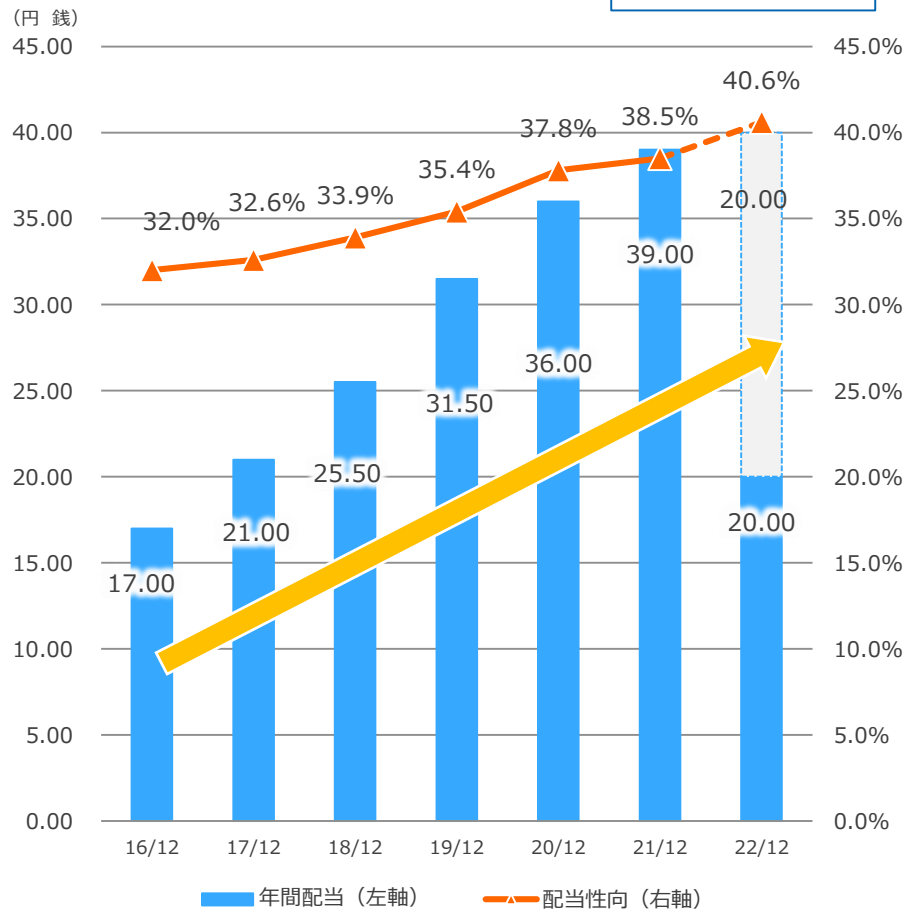


1株当たり純資産（BPS）



配当推移

（予想）22/12期
配当性向 40.6%



2022年12月期　第2四半期　業績概要《連結》

業績は2022年度予想達成に向けて順調に進捗

（億円）

	21/12期	22/12期 通期業績予想	22/12期 2Q	22/12期 進捗率
営業収益	**4,470**	**（未公表）**	**2,474**	**–**
営業利益	**1,145**	**1,230**	**570**	**46%**
賃貸・管理等	(45%)　594	(46%)　605	(42%)　273	45%
不動産売却	(55%)　717	(54%)　718	(58%)　382	53%
その他・消去又は全社	▲167	▲94	▲85	–
経常利益	**1,095**	**1,150**	**574**	**50%**
親会社株主に帰属する当期純利益	**695**	**750**	**369**	**49%**

（注）賃貸・管理等＝当社が保有する物件（含む連結SPC)の不動産売却以外の不動産事業に関する収益

（注）営業利益　（　）内の数字は、不動産セグメント内における賃貸・管理等と不動産売却の比率

賃貸・管理等収益は期ずれ要因を背景に一時的な減益（第3四半期は増加を見込む）

（百万円）

	21/12期 第2四半期	22/12期 第2四半期	増減
営業収益	**220,067**	**247,429**	**27,361**
不動産事業	209,794	234,269	24,475
うち賃貸・管理等	52,244	47,803	△4,441 *1
うち不動産売却	157,550	186,466	28,916
保険代理店事業	1,618	1,766	148
ホテル・旅館事業	8,091	11,505	3,414 *2
その他	3,708	3,891	183
消去または全社	△3,145	△4,005	△859
営業利益	**58,691**	**57,065**	**△1,626**
不動産事業	67,349	65,619	△1,730
うち賃貸・管理等	30,452	27,371	△3,080 *1
うち不動産売却	36,897	38,247	1,349
保険代理店事業	478	510	32
ホテル・旅館事業	△4,311	△3,899	412 *2
その他	304	375	70
消去または全社	△5,128	△5,540	△412

＜主な増減要因＞

- うち賃貸・管理等
  - 投資・竣工　+73億円
  - 売却　△59億円
- うち不動産売却
  - 販売用不動産売却益　+289億円
- うち賃貸・管理等
  - 投資・竣工　+55億円
  - 売却　△36億円
- うち不動産売却
  - 販売用不動産売却益　+13億円
- ホテル・旅館事業
  - 新型コロナ影響　+4億円

（注）賃貸・管理等＝当社が保有する物件（含む連結SPC)の不動産売却以外の不動産事業に関する収益

＊1 当期に発生した持分法適用不動産関連会社（SPC）の投資配当収入が連結上は第3四半期に計上される予定

＊2 日本ビューホテル・日本ビューホテル事業は2021年11月～2022年4月（決算期4月）を、ホテル日航金沢の運営会社は2021年10月～2022年3月（決算期3月）を取り込み

2022年12月期　第2四半期　-《連結》損益計算書 -

ポートフォリオ入替と収益基盤増強のバランスをとりながら、中長期経営計画フェーズIを推進

（百万円）

	21/12期 第2四半期	22/12期 第2四半期	増減（率）	
営業収益	**220,067**	**247,429**	**27,361**	**(+12.4%)**
営業総利益	**79,640**	**80,241**	**600**	
販管費	20,949	23,175	2,226	
営業利益	**58,691**	**57,065**	**△1,626** *	**(△2.7%)**
営業外収益	3,464	6,459	2,994	
営業外費用	5,587	6,024	436	
経常利益	**56,568**	**57,499**	**931**	**(+1.6%)**
特別利益	388	107	△281	
特別損失	2,515	2,307	△207	
法人税等	18,414	18,312	△101	
親会社株主に帰属する四半期純利益	**35,943**	**36,999**	**1,056**	**(+2.9%)**

＜主な増減要因＞

- 営業収益
  - 不動産事業　+244億円
  - ホテル・旅館事業　+34億円
- 販管費
  - ホテル旅館事業　+13億円
  - 租税公課　+4億円
- 営業利益
  - 不動産事業*　△17億円
  - ホテル・旅館事業　+4億円
  - 消去または全社　△4億円
- 経常利益
  - 賃貸解約関係収入　+25億円

＊ 当期に発生した持分法適用不動産関連会社（SPC）の投資配当収入が連結上は第3四半期に計上される予定

2022年12月期　第2四半期 -《連結》貸借対照表 -

リースバックや相互売買などを活用しつつポートフォリオの入替を継続し、有形固定資産は増加

（百万円）

		21/12期末	22/6月末	増減
資産	**流動資産**	**328,931**	**327,802**	**△1,128**
	固定資産	**1,876,031**	**1,987,041**	**111,009**
	有形固定資産	1,527,466	1,627860	100,394
	無形固定資産	84,691	87,564	2,873
	投資有価証券	225,547	231,431	5,883
	時価あり有価証券	100,731	105,862	5,130
	SPC純投資	6,173	20,749	14,576
	その他	118,643	104,820	△13,823
	合　計	**2,207,325**	**2,316,871**	**109,546**
負債及び純資産	**負債**	**1,568,993**	**1,658,416**	**89,423**
	借入金	1,049,487	1,029,070	△20,416
	社債	345,000	445,004	100,004
	繰延税金負債	40,499	37,409	△3,089
	純資産	**638,332**	**658,455**	**20,122**
	株主資本	599,256	619,648	20,392
	その他有価証券評価差額金	38,401	38,376	△25
	合　計	**2,207,325**	**2,316,871**	**109,546**

＜主な増減要因＞

販売用不動産　+569億円
- 取得　+1,542億円
- 売却　△1,447億円
- 振替等　+539億円

現預金　△652億円

土地・建物　+982億円
- 取得　+1,506億円
- 竣工　+38億円
- 振替等　△555億円

時価あり有価証券とSPC純投資の入繰　37億円

時価あり有価証券の時価　+10億円

SPCを通じた不動産投資　+178億円

持分法適用不動産SPCの出資返還　△126億円

リプレイス対象の既存HBFが短期に振替
- 長期借入金1年以内　+972億円
- 長期借入金　△1,177億円
- 1年以内償還予定の社債　+500億円
- 社債　△500億円

短期社債　+1,000億円

当期純利益　+369億円

剰余金の配当　△153億円

株式給付信託への追加拠出△15億円

長期格付がAA-／安定的へ格上げ（2022年5月）

外部格付

JCR　長期格付	**AA- / 安定的** 2022.5　A+(ポジティブ)から**格上げ**

社債発行

（2018年度以降）

発行日	回号	利率	発行額	年限
2018/1/26	第1回劣後	0.990%	500億円	35年(NC5)
2018/10/22	第6回	0.494%	200億円	10年
2019/6/25	第7回	0.20%	200億円	5年
〃	第8回	0.30%	200億円	7年
〃	第9回	0.40%	150億円	10年
2020/7/2	第2回劣後	1.28%	1,200億円	35年(NC5)
〃	第3回劣後	1.40%	400億円	37年(NC7)
〃	第4回劣後	1.56%	400億円	40年(NC10)
2020/10/15	第10回 (*)	0.44%	100億円	10年

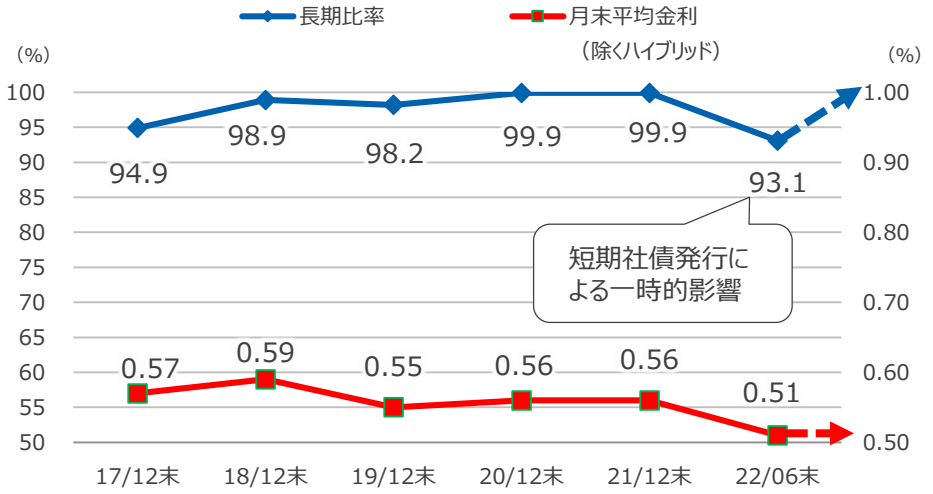
(*) サステナビリティ・リンク・ボンド

調達余力

（2022年6月末）　（億円）

当座借越極度額（うち利用残）	1,540	(0)	–
CP発行総額　（同上）	1,500	(1,000)	–
社債発行登録額(同上)/ 既発行額	3,000	(0)	3,450

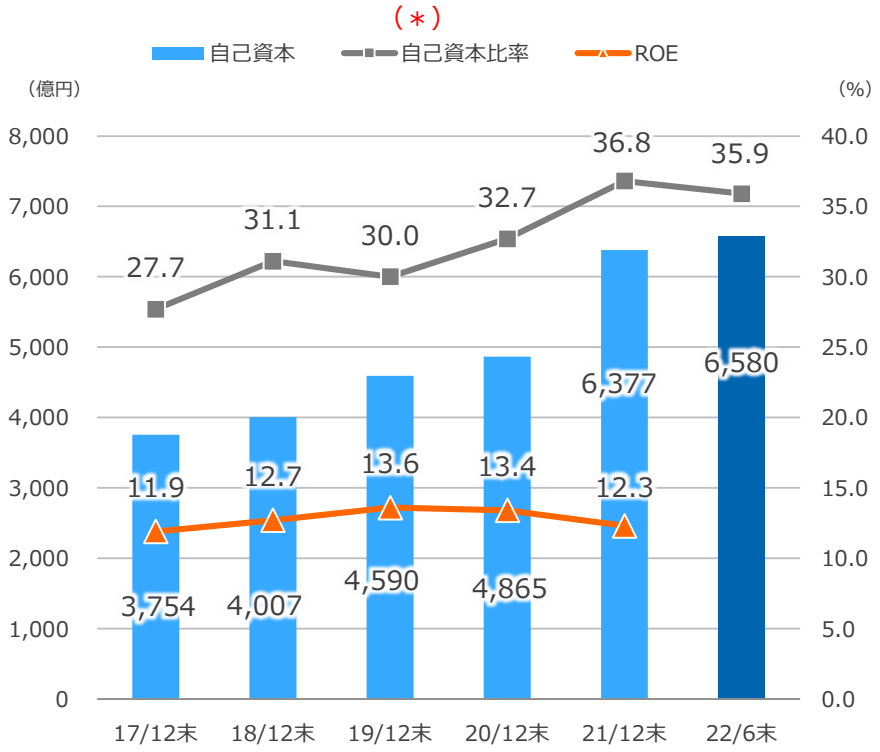
資金調達



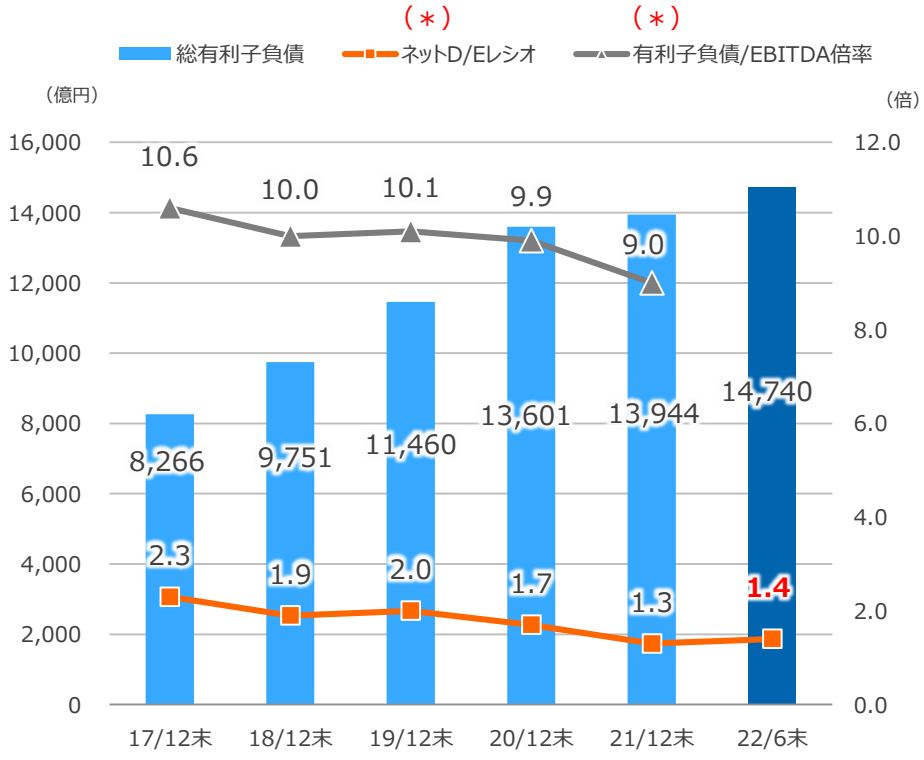
（注）平均月末金利（含むハイブリッド）
18/12末：0.64%、19/12末：0.60%、20/12末：0.72%、21/12末：0.71%、22/06末：0.67%
22/06末は年率換算値

安定的かつ健全な財務基盤をベースに、規律ある財務運営を継続

安全性・効率性



財務規律



(＊)

- 2018年実施のハイブリッドファイナンス（社債及びローン）1,500億円のうち、50%（750億円）をみなし資本として算出（18/12末以降）
- 2020年実施のハイブリッドファイナンス（社債）2,000億円のうち、50%（1,000億円）をみなし資本として算出（20/12末以降）

賃貸等不動産の含み損益

含み益は増加

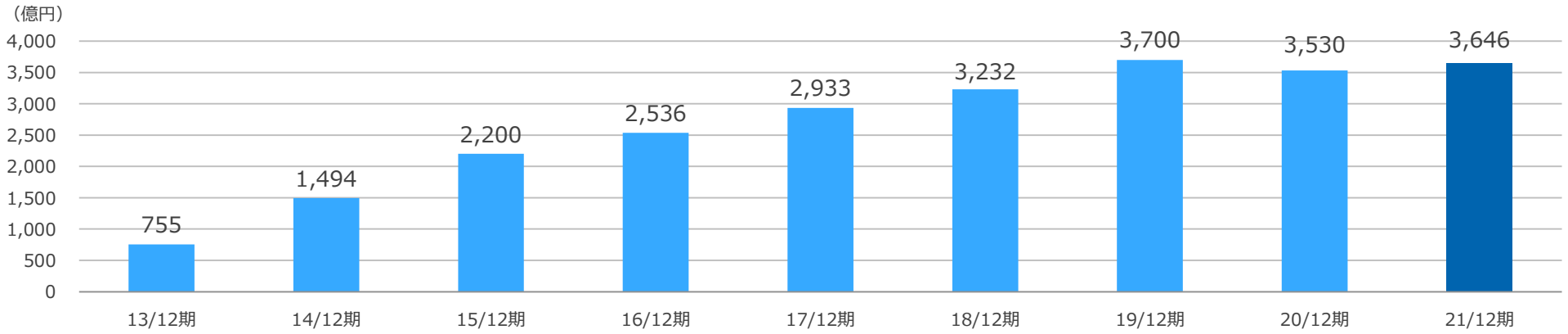
（百万円）

	20/12期末	21/12期末	増減
B/S計上額	1,507,710	1,508,103	394
時価評価額	1,860,727	1,872,713	11,987
差額（含み損益）	353,017	364,610	11,593

2020年度取得物件と
重点アセットの評価増を
主因に増加

・当社及び子会社が賃貸中または完成後賃貸を予定している開発中の物件が対象（販売用不動産を除く）
・当社及び子会社が一部使用している不動産を含む（「ヒューリック本社ビル」及び当社子会社がホテル・旅館として使用している物件については対象外）
・主要な物件は鑑定士による評価。その他の物件は適切に市場価格を反映していると考えられる指標等を用いて自社で算定
・期中における新規取得物件は期末簿価を時価とみなす

含み益推移



株主還元

配当を通じた安定的株主還元を志向。22/12期は前期実績比+1円の増配予想
配当性向は、中計における目標の40%程度を達成する見込み

22/12期　配当予想

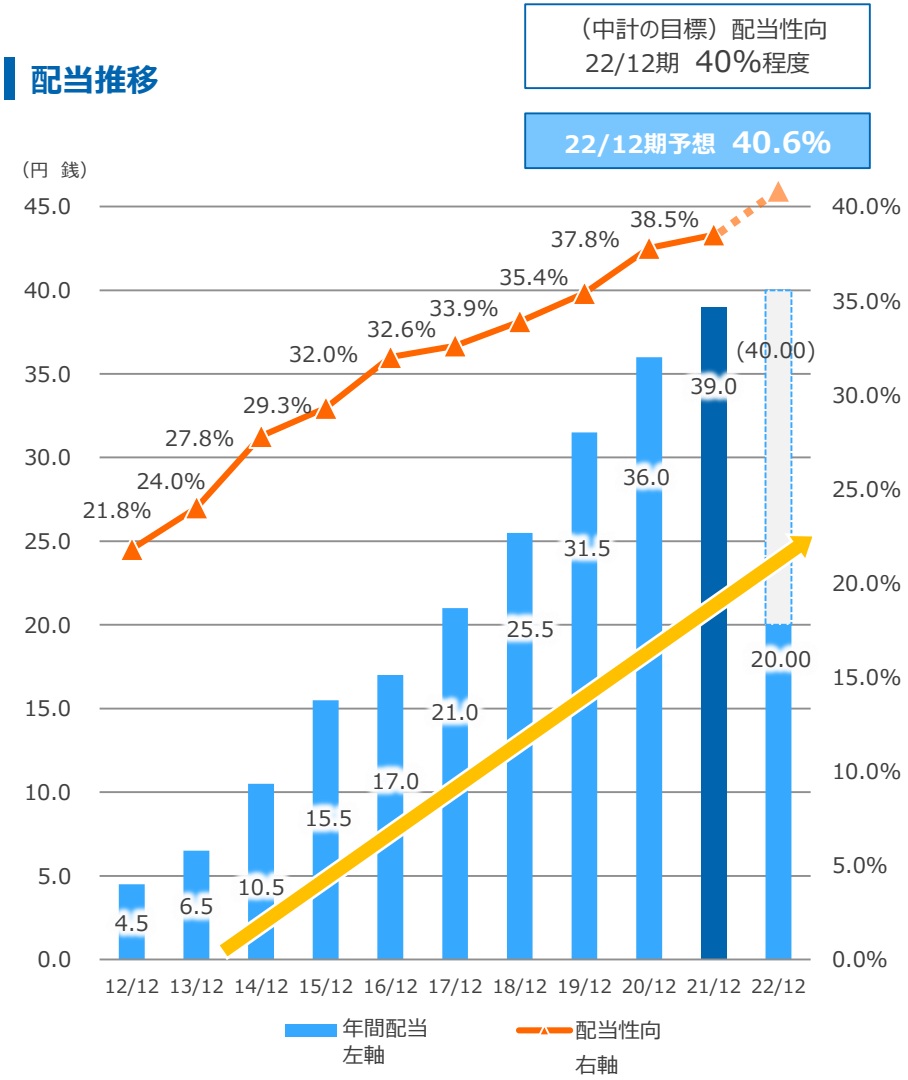
（円 銭）

1株当たり配当金	21/12期		22/12期
	期初予想	実績	予想
中間配当	19.00	19.00	20.00
期末配当	19.00	20.00	20.00
年間合計	38.00	39.00	40.00

株主優待

保有株数	保有継続期間	グルメカタログギフト
300株（3単元）以上	3年未満	3,000円相当
	3年以上	6,000円相当 （3,000円×2点）

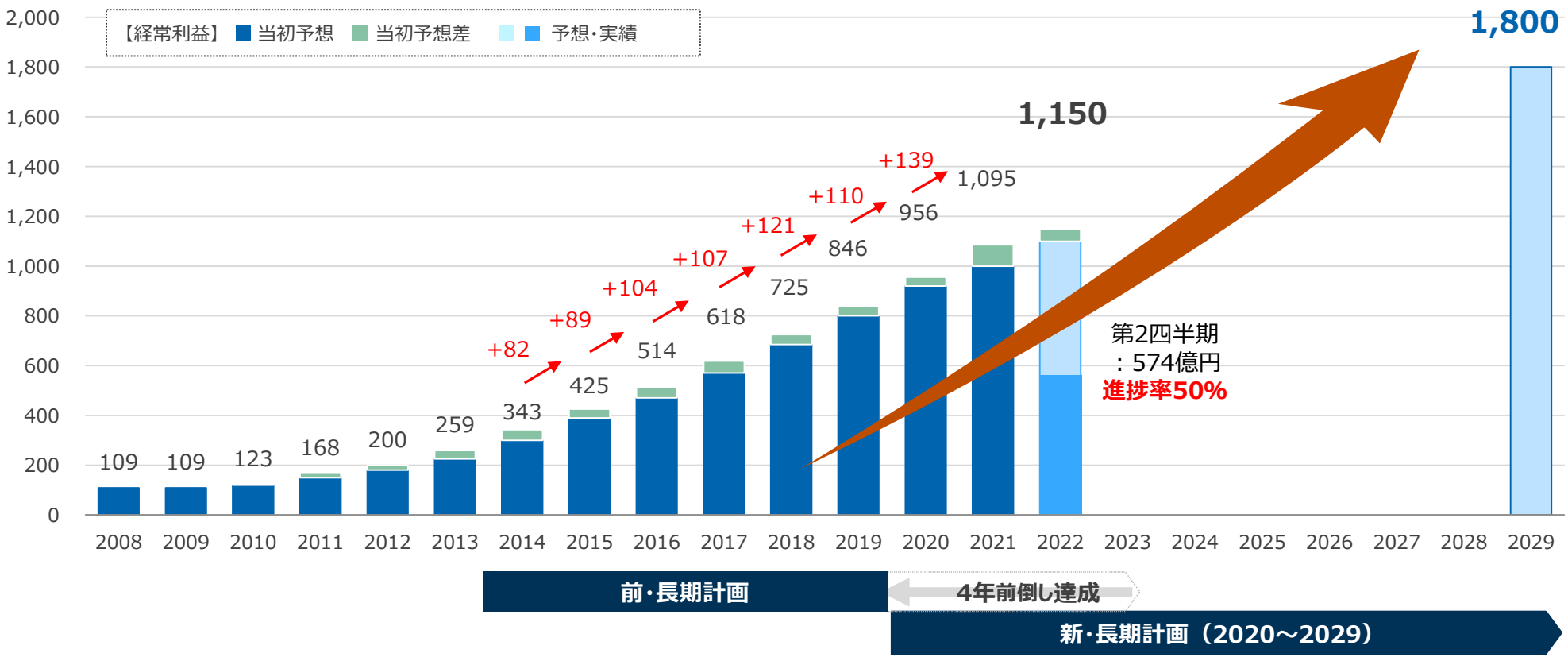
配当推移



定量目標（経常利益）の進捗

賃貸ポートフォリオの再構築

フェーズⅠ 2020~2022	フェーズII 2023~2025	フェーズIII 2026~2029
耐震性強靭化を最優先	開発・建替の竣工が増加	賃貸面積拡大 + ハイスペックビル
賃貸・管理等比率は低下	2025年には賃貸・管理等比率は上昇へ	賃貸・管理等比率 55～65%



2022年度計量計画（フェーズI最終年度）

利益計画	2020/12期 実績	2021/12期 実績	2022/12期 計画*1	2022Q2 実績
営業収益	3,396	4,470	–	2,474
営業利益	1,005	1,145	1,230	570
賃貸・管理、等	(48%) 555	(45%) 594	(46%) 605	(42%) 273
不動産売却	(52%) 598	(55%) 718	(54%) 718	(58%) 382
その他・消去又は全社	△148	△167	△94	△85
経常利益	956	1,095	1,150	574
親会社株主に帰属する当期純利益	636	695	750	369
投資計画				
ネット投資額	2,130	1,080	4,260	約2,000
賃貸・管理、等	1,450	700	3,340	—
開発	550	440	1,090	—
バリューアッド	130	△60	△170	—

（億円）

グロスで約3,500億円の投資を実施

（注）賃貸・管理等＝当社が保有する物件（含む連結SPC)の不動産売却以外の不動産事業に関する収益

＊1 22/12期計画の前提：
・国内の不動産市況は、海外投資家等の旺盛な投資意欲と低金利等を背景に安定した市況が続く見通し
・コロナ影響は不透明な状況が続く

中長期経営計画（2020-2029年）目指す姿・基本方針・基本戦略

10年後の目指す姿

2029年

■ 「変革」と「スピード」をベースに、環境変化に柔軟に対応した進化を通じて、
持続的な企業価値向上を実現する企業グループ

基本方針

■ 「成長性」「収益性」「安全性」「生産性（効率性）」を高次元でバランスしつつ、
圧倒的なスピードによるダイナミックな転換を図り、更なる成長を実現する

基本戦略

事 業

1.ビジネスモデルの進化と
賃貸ポートフォリオの再構築

2.開発事業及びバリューアッド事業
の強靭化

3.独自性のある新規事業領域
の創造とグループ力の向上

経営インフラ

4.経営基盤の強化とリスク管理の徹底

5.社会と企業の共創・共生を図る
サステナビリティを重視したマネジメント

賃貸ポートフォリオの再構築

競争優位性のある賃貸ポートフォリオへ再構築
①都心好立地、②高耐震・高性能、③環境配慮、④バランスの取れた用途構成

厳選立地

重点エリア・都心主要駅至近

- 銀座、新宿東口、渋谷・青山、浅草の好立地
- 都心部の駅徒歩3分以内中心

耐震性能

100%高耐震ビル化

- 首都直下地震に備え、震度7クラスの地震に耐える強度 (2) のビル
- 長寿命化ビルガイドライン（100年オフィス） (3) を標準仕様

競争優位性のあるポートフォリオへ再構築

環境配慮

全保有物件の使用電力を100%再エネ化 (1)

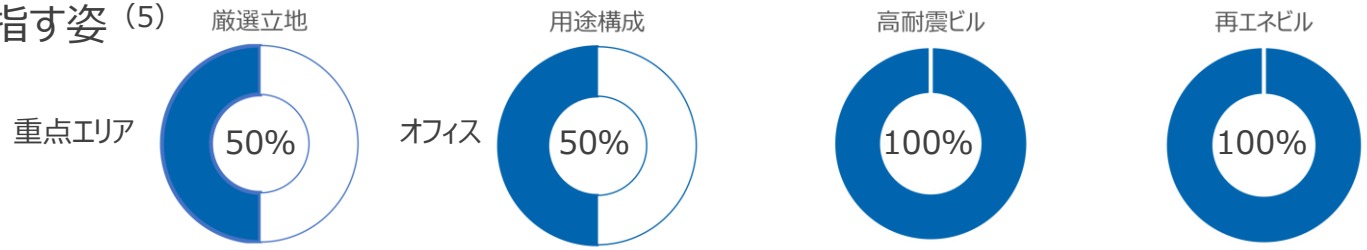
- 自社保有・非FIT (4) 太陽光発電による電力の再エネ化
- 2024年 RE100達成、2030年 全保有建物を100%再エネ化

用途構成

バランスの取れた用途構成

- 労働人口の減少に伴い、オフィス比率を50%程度まで抑制し、バランスの取れた用途構成を志向

2029年に目指す姿 (5)



注：（1）当社がエネルギー管理権原を有さない一棟貸、住宅系、非幹事共有物件と販売用不動産を除く
（2）当社耐震基準は、震度7クラスの地震が発生した場合に人命の安全が確保でき、補修をすることで継続して建物を使用することが可能なビル性能として当社が定めた耐震基準であり、建築基準法耐震基準の15%程度割増の耐力（耐震性能）（3）2011年に策定 （4）FIT制度とは、再生可能エネルギーにより発電された電気の固定価格買取制度 （5）厳選立地・用途構成は簿価ベース、高耐震・再エネは件数ベース

脱炭素・高耐震による競争優位性の向上

厳選立地に加え、脱炭素化・高耐震性能で競争力をさらに強化

脱炭素の取り組み

取り組みとタイムライン

2019年 加盟
2024年
RE100
2020年 宣言
2030年
全保有建物（1）の使用電力を100%再エネ化

環境目標の達成に向けて投資を実行

取り組み達成の方法

100%自社保有の非FIT太陽用発電設備を開発	2030年までに総額約660億円（年間約80億円）を投資

100%高耐震ビル化の取り組み

当社の耐震への取り組み

開発・建替案件	開発・建替以外の保有物件
建築基準法耐震基準の**1.25倍以上**	**震度7クラスの地震**に耐える強度（2）

当社の長寿命化ビルガイドライン

100年以上安全に使い続けられるグレードの躯体

100%高耐震ビル化に向けた賃貸ポートフォリオの構築方法

2029年（目標）賃貸ポートフォリオの
100%高耐震ビル化を実現



使用電力を100%再生可能エネルギー化することで、テナント企業の環境目標（RE100等）達成にも貢献

震度7クラスの地震に耐える耐震性能・長寿命化ビルガイドラインに基づくビルの耐久性によるテナントのBCPニーズへ対応

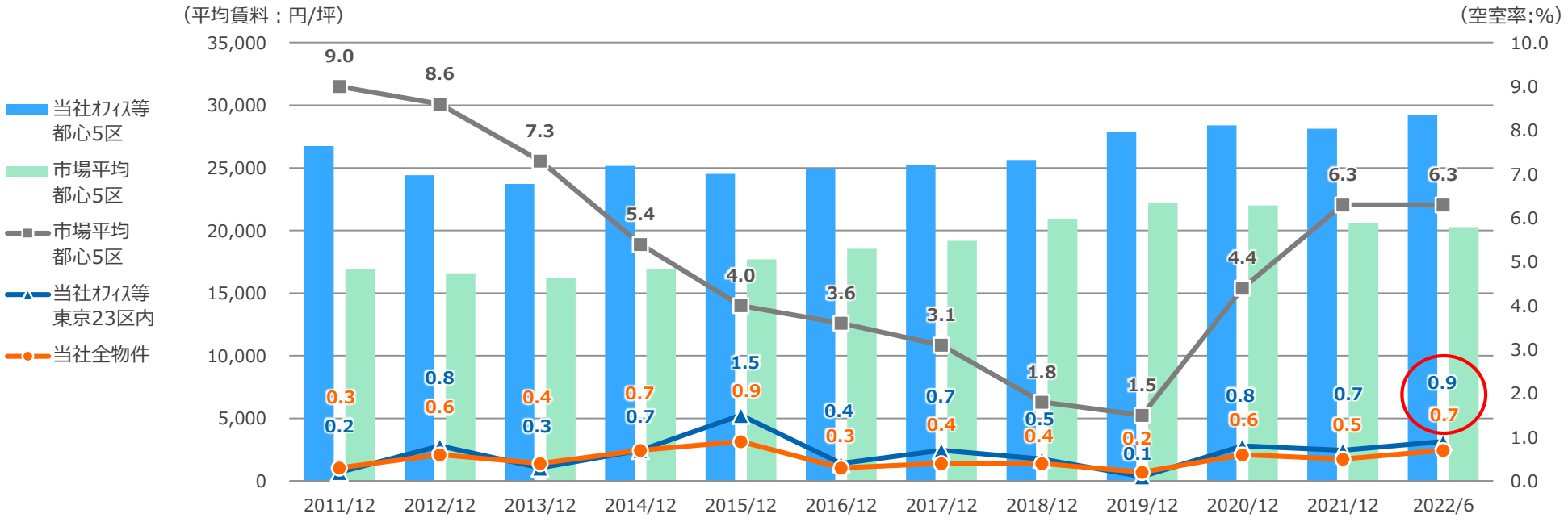
期待される効果

競争優位性の強化　**賃料アップ**　**低空室率を維持**

(1)当社がエネルギー管理権原を有さない一棟貸、住宅系、非幹事共有物件と販売用不動産を除く　(2)当社耐震基準は、震度7の地震が発生した場合に人命の安全が確保でき、補修をすることで継続して建物を使用することが可能なビル性能として当社が定めた耐震基準であり、建築基準法耐震基準の15%程度割増の耐力（耐震性能）

空室率・平均賃料推移

空室率は東京23区内オフィスで微増するも、引続き1%以下で推移
平均賃料は市場平均を大きく上回りながら、安定的に推移



オフィス等 平均賃料（円）			2011/12	2012/12	2013/12	2014/12	2015/12	2016/12	2017/12	2018/12	2019/12	2020/12	2021/12	2022/6
当社	都心5区		26,753	24,420	23,714	25,147	24,510	24,970	25,242	25,628	27,858	28,393	28,119	28,712
東京	都心5区		16,932	16,572	16,207	16,953	17,692	18,540	19,173	20,887	22,206	21,999	20,596	20,273
大阪	主要６区		11,661	11,344	11,271	11,123	11,114	11,051	11,267	11,423	11,794	11,925	11,796	11,880
		（当社全体オフィス等）										21,271	22,255	22,163

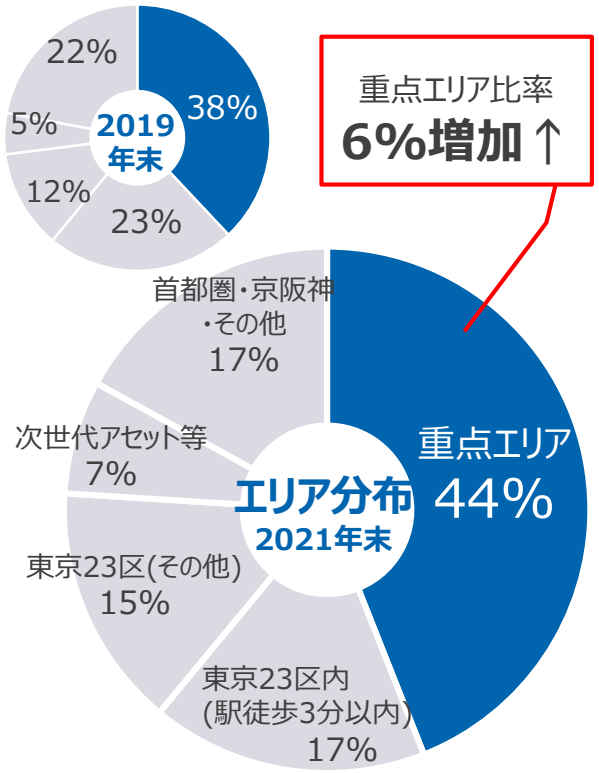
・市場平均：三鬼商事（株）地域別オフィスデータより(対象：東京ビジネス地区内にある基準階面積100坪以上のオフィスビル)
・当社の空室率：テナントの要望や建替により保留している未契約の床面積、及び竣工1年以内物件、販売用不動産を除く
・当社の平均賃料：期末月の賃料収入を期末の契約賃貸面積で除した数字。ホテル旅館、一棟貸商業等、販売用不動産を除く

賃貸ポートフォリオの再構築の進捗

ポートフォリオの再構築は順調に進捗中。重点エリアの比率は上昇
中計フェーズII以降の竣工により、さらに積み上げ

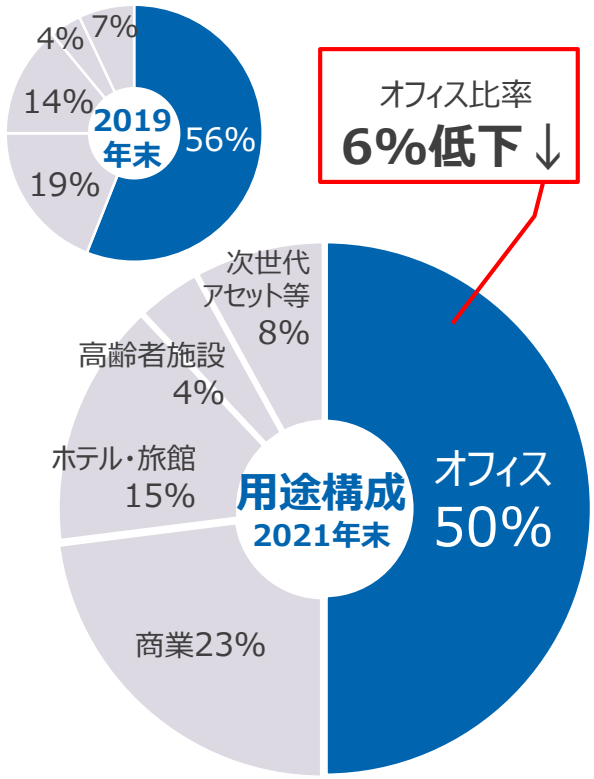
厳選立地を志向

厳選した好立地物件を**重点エリア**（銀座・新宿東口・渋谷／青山・浅草）で積極的に取得



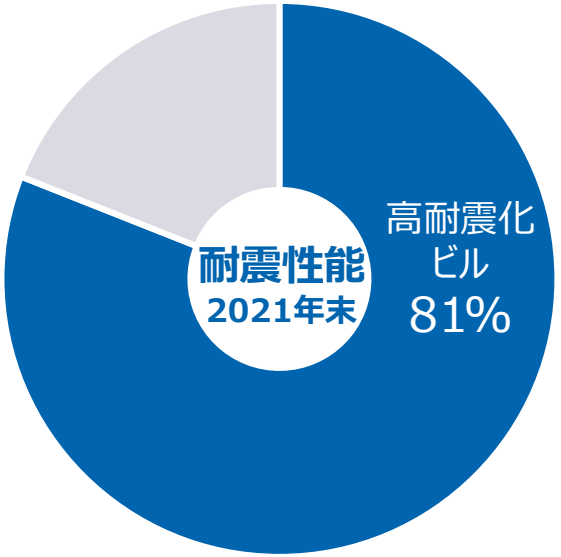
バランスの良い用途構成

商業・次世代アセット/CRE等が増加し、**オフィス比率は目標の50%**に



100%高耐震ビル化

ポートフォリオの入替により高耐震ビル比率は順調に増加



（注）重点エリア・用途構成は簿価ベース、高耐震比率は件数ベース

ポートフォリオの概観

オフィス等は都心好立地。築古物件保有により、豊富な開発・建替パイプラインを有す

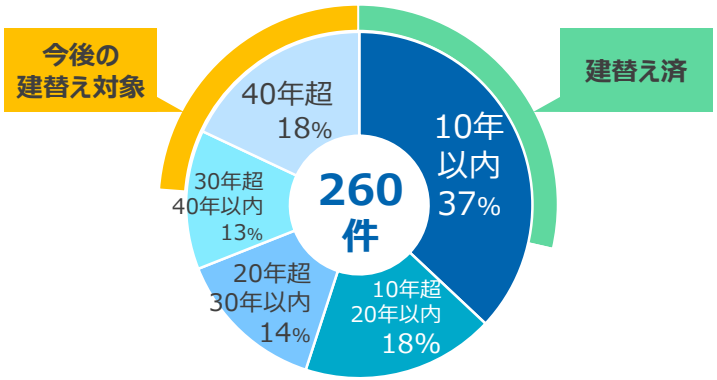
当社所有物件（販売用不動産を除く）

2022年6月末

	物件数（件）	賃貸可能面積（千㎡）
オフィス等 （オフィス・商業施設・ホテル旅館・その他）	221 （△2）	1,290 （+62）
住居等 （高齢者施設・住居）	39 （△3）	97 （+1）
全　体	260 （△5）	1,388 （+64）

（カッコ内：前年度末比増減）

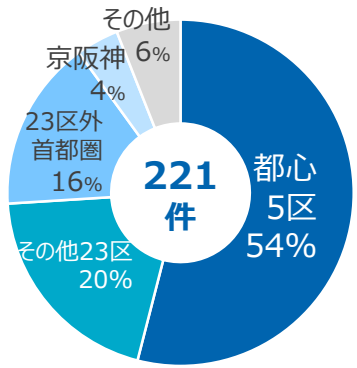
築年数（含む住居等）



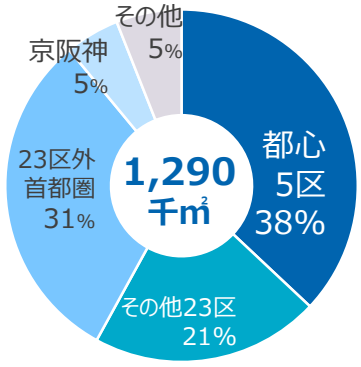
物件分布（除く住居等）

（注）：物件数・賃貸可能面積は、電通を含む非連結SPC出資は除く

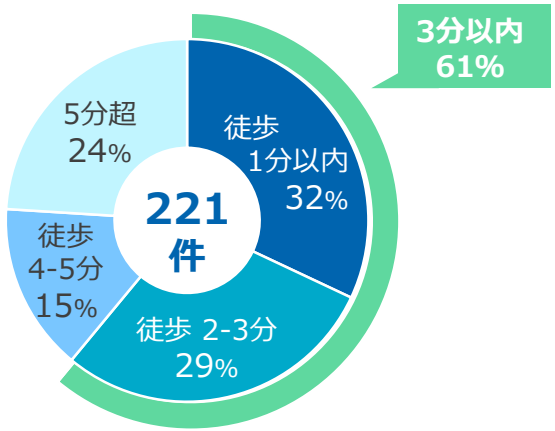
物　件　数



賃貸可能面積

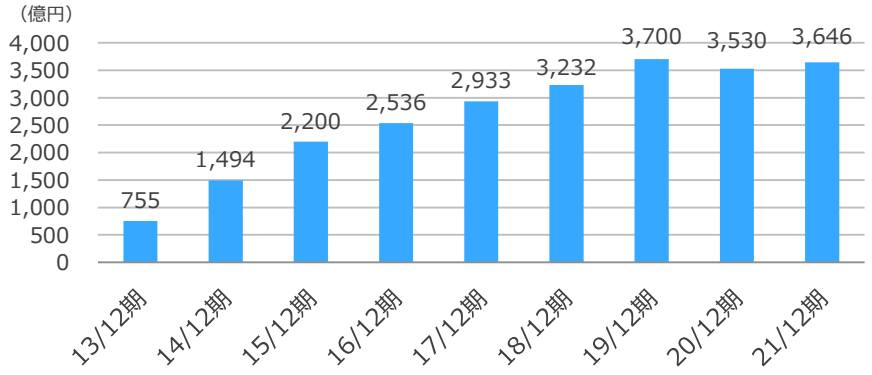


最寄駅からの距離（除く住居等）

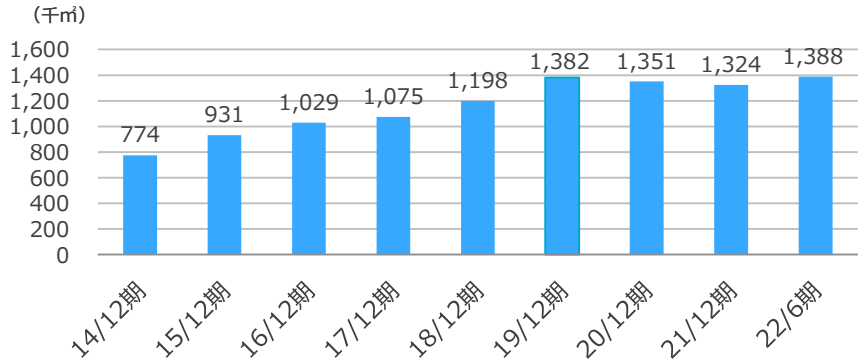


ポートフォリオの再構築を進めながら、賃貸等不動産の評価損益と賃貸可能面積を維持

賃貸等不動産の含み益推移

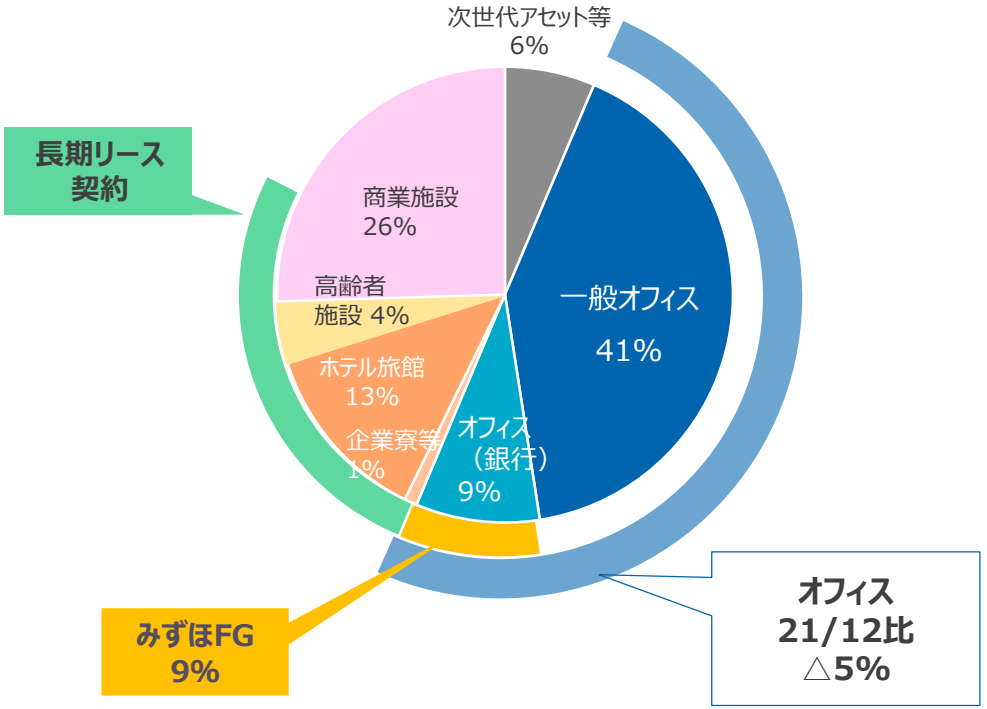


賃貸可能面積推移



アセットタイプ別（賃貸収入）　（注）販売用不動産を除く

2022年6月（単月）



（注）：賃貸可能面積は、電通のような非連結SPC出資は除く

固定資産の取得

重点エリアを中心に新規投資を実施

2022年　主な取得物件

名称	用途	エリア	交通	狙い	取得時期
銀座コアビル（一部取得）	商業・再開発	都心5区	東京メトロ各線「銀座」駅直結	重点エリア	2022年2月
アイ・アンド・イー新宿ビル	オフィス	都心5区	東京メトロ丸ノ内線「新宿御苑前」駅徒歩2分 東京メトロ・都営地下鉄「新宿三丁目」駅徒歩4分	重点エリア	2022年2月
ブリオーニ銀座ビル（追加取得）	商業	都心5区	東京メトロ銀座線他「銀座」駅徒歩2分	重点エリア	2021年12月（30%） 2022年3月（30%） 2022年9月予定（40%）
日立ソリューションズタワー	オフィス	東京23区	東京臨海高速鉄道りんかい線「品川シーサイド」駅徒歩1分	都心駅近・CRE	2022年3月
ヒューリックみなとみらい（建物）	商業・ホテル等	首都圏	JR京浜東北、根岸線「桜木町」駅徒歩1分	都心駅近・バリューアッド	2022年5月
ニッタン笹塚ビル	オフィス	都心5区	京王電鉄京王新線「笹塚」駅徒歩3分	都心駅近	2022年5月
イトーヨーカドー東大和店	商業	首都圏	西武拝島線「玉川上水」駅徒歩11分 多摩都市モノレール線「桜街道」駅徒歩9分	バリューアッド・CRE	2022年6月(10%) 2022年12月（20%） 2023年6月（70%）
南青山4丁目ビル	商業	都心5区	東京メトロ各線「表参道」駅徒歩4分	重点エリア	2022年6月


アイ・アンド・イー新宿ビル
（新宿東口エリア）


ブリオーニ銀座ビル(60%)
（銀座エリア）


日立ソリューションズタワー
（都心駅近・CRE）


ヒューリックみなとみらい
（都心駅近・バリューアッド）


ニッタン笹塚ビル
（都心駅近）


イトーヨーカドー東大和店(10%)
（バリューアッド・CRE）


南青山4丁目ビル
（重点エリア）

CRE事業による物件取得

コロナ禍で多様化する企業による不動産の有効活用ニーズに、提案力の高さで対応

収益機会の創出

コアテナントとしての安定収益確保 → **安定収益**

リテナント・バリューアップによるアップサイド余地

希少エリア物件の確保による競争力の向上

→ **収益ポテンシャル**

日立製作所

日立ソリューションズタワー (2022年取得)



- 日立ソリューションズの本社ビル。日立グループのセールスアンドリースバック案件
- 駅直結で耐震性に優れたオフィスビル

日本電気（NEC）

NEC相模原事業場（底地） (2021年取得)



- NECが工場等で使用する底地のオフバランス化ニーズへの対応
- 当社が土地を取得し、長期に賃貸するセールスアンドリースバック

リクルート

リクルート銀座8丁目ビル (2021年取得)



- 日本を代表する企業の本社オフィスのセールスアンドリースバック案件
- 重点エリアである銀座立地（同社からの取得は12年の銀座7丁目ビルに続く2棟目）

オンワード

オンワードベイパークビルディング（底地） (2021年取得)



- 大手アパレルであるオンワードホールディングスのオフィスビル底地を取得するCRE案件

京浜急行電鉄

ふふ城ヶ島開発計画 (2025年開業予定)



- 電鉄企業所有の旧ホテル跡地のCRE案件
- 当社の高級旅館「ふふ」ブランドとして開発予定

東京地下鉄（東京メトロ）

塩浜二丁目開発計画（借地） (2026/2028年竣工予定)



- 東京メトロの土地活用に係るプロポーザルにおいて、当社が選定事業者となったCRE案件
- 都心型データセンターとして開発予定

販売用不動産の取得と売却

物流用地、オフィス等を取得
売却ではリート拠出や耐震性を重視したポートフォリオの入替を継続

2022年度　主な取得

物件名称等	用途	エリア	取得時期
物流用地4件	物流用地	首都圏	2022年3月
みなとみらいセンタービル	オフィス	首都圏	2022年5月
オフィス1件	オフィス	都心5区	2022年5月
マニュライフプレイス蒲田	オフィス	東京23区	2022年6月

2022年度　主な売却

売却理由	物件名称等	用途	エリア	売却時期
公募・私募リート等へ拠出	オフィス2物件 (各90%)、住居3物件	オフィス、高齢者施設	東京23区	2022年3月
	商業A	商業施設	都心5区	2022年6月
	商業B（49%）	商業施設	都心5区	2022年6月
	住居1物件	高齢者施設	東京23区	2022年6月
ポートフォリオの入替 ・テナント退去 ・耐震　等	池袋東急ハンズ（含む隣地）	商業施設等	東京23区	2022年2月
	高樹町センタービル・新館ビル	オフィス	都心5区	2022年3月
	オフィス10物件（バルク）	オフィス	東京23区	2022年6月
	リーフみなとみらい	商業施設	首都圏	2022年6月
	住居2物件	賃貸マンション等	東京23区	2022年6月

開発・建替事業

82件が確定・内定。中計フェーズII以降は竣工が加速し、賃貸ポートフォリオの強靭化が進む

PPP・CRE・VA・物流・データセンター　他
観光・ヘルスケア
都心主要駅近
重点エリア

（注）：竣工ベースでカウント

2020年	2021年	2022年	2023～2025年	2026～	合計
ヒューリック成増	LICOPA鶴見	ヒューリックロジスティクス葛西	小舟町プロジェクト	江東区案件	
ヒューリック王子ビル	Bizflex 麻布十番 by HULIC	ヒューリックスクエア札幌（Ⅰ期棟）	川崎物件	市川物件	
立誠ガーデン ヒューリック京都	HULIC &New UDAGAWA	錦糸町開発計画（PPP）	相模原物流開発①	塩浜二丁目開発計画（1期）	
ヒューリック両国リバーセンター	HULIC &New SHINJUKU	HULIC &New GINZA NAMIKI 6	野田市中根物流開発計画	塩浜二丁目開発計画（2期）	
メトロシティ六本木	HULIC &New GINZA 8	京橋二丁目開発計画	野田物流開発②	大阪物件	
ヒューリックJP赤坂ビル			柏市新十余二物流開発計画	松戸物流開発	
ヒューリック銀座6丁目ビル			ヒューリックスクエア札幌（Ⅱ期棟）	相模原物流開発②	
			ヒューリック福岡ビル建替計画	相模原物流開発③	
			横浜山下町開発計画	千代田区物件	
			医誠会国際総合病院計画	成田物流開発	
			八重洲一丁目東再開発	心斎橋プロジェクト	
			虎ノ門開発計画	池袋物件	
			千駄ヶ谷センタービル建替計画	三田物件	
			六本木6丁目開発計画（Bizflex）	市ヶ谷物件①	
			日本橋3丁目開発計画（Bizflex）	市ヶ谷物件②	
			神田計画（Bizflex）	新橋物件①	
			浜松町2丁目開発計画（Bizflex）	新橋物件②	
			銀座ビル建替計画	新橋物件③	
			銀座6丁目昭和通り開発計画	新橋物件④	
			銀座5丁目みゆき通りビル開発計画	九段物件	
			ヒューリック銀座一丁目開発計画	八重洲二丁目中地区再開発	
			表参道開発計画	中野駅新北口駅前エリア拠点施設整備事業	
			宇田川町17開発計画	自由が丘1-29再開発	
			宇田川町36開発計画	宮崎県東京ビル再整備事業	
			渋谷一丁目開発計画	新宿物件①	
				新宿318開発計画	
				渋谷一丁目地区共同開発事業(PPP)	
				渋谷・青山物件①	
				渋谷・青山物件②	
				渋谷PJ	
				銀座物件①	
				銀座物件②	
				銀座物件③	
				銀座物件④	
				銀座物件⑤	
				銀座コア再開発	
				近畿建物銀座ビル	
				ヒューリック西銀座ビル	
				ヒューリック銀座七丁目昭和通ビル	
				第二丸高ビル	
7件	5件	5件	25件	40件	82件

上記以外（高齢者施設・旅館）

ふふ奈良	ふふ京都	ホスピタルメント青山	ふふ城ヶ島開発計画		
ふふ日光	ふふ熱海 別邸 木の間の月	ソナーレ目黒不動前	ふふ軽井沢長倉開発計画		
	チャームプレミアグラン南麻布		ふふ軽井沢雲場池開発計画		
	ホスピタルメント四谷大京町		弁天町シニア開発計画		
	ふふ箱根		老人ホーム（四谷）		
					合計
2件	5件	2件	5件		14件

2022年度の主な開発・建替の進捗

（注）今後の設計や関係官庁との協議等により イメージに変更が生じる可能性があります。

2022年 竣工・竣工予定

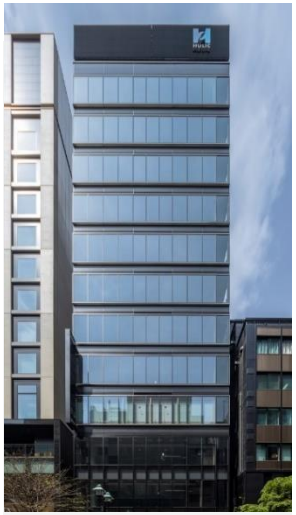


ソナーレ目黒不動前



ホスピタルメント青山

（高齢者施設）



HULIC &New
GINZA NAMIKI 6

（銀座エリア）



ヒューリックロジスティクス葛西

（バリューアップ・物流施設）



錦糸町開発計画

（PPP）



ヒューリックスクエア札幌（Ⅰ期棟）

（建替）



京橋二丁目開発計画

（オフィス）

2022年 着工・着工予定



野田市中根物流開発

（物流施設）



銀座ビル建替計画

＊解体着工（銀座エリア・建替）



ヒューリックスクエア札幌（Ⅱ期棟）

＊Ⅰ･Ⅱ期竣工後のイメージ ＊解体着工(建替)



ヒューリック福岡ビル建替計画

（建替）



銀座5丁目みゆき通りビル計画

（銀座エリア）

2022年初来の新規プロジェクトリリース（銀座エリア）

銀座中央通りに面する繁華性の高い立地で開発・建替計画を進行中

1 銀座ビル建替計画

- 2022年3月 みずほ銀行銀座中央支店の移転に伴い、建替計画着手を決定
- 東京メトロ**「銀座一丁目」駅と接続**。銀座中央通り、柳通り、ガス灯通りに面した角地に構える希少性の高い立地
- 高層階6フロアに高級旅館「**(仮称)ふふ東京銀座**」、中層階に事務所、低層階に物販店舗を配する複合施設を計画



計画概要（予定）

所在地	東京都中央区銀座1-4-6他（地番）
敷地面積	約1,020㎡
規模	地上12階、地下3階
用途	高級旅館（ふふ）、事務所、物販店舗
竣工	2025年予定

2 銀座コア 再開発計画

- 2022年2月、銀座コアビルの権利者と銀座コア再開発の共同事業に関する基本協定等を締結。事業パートナーとしての参画が決定
- 銀座中央通りに面し、三越、松屋、ヒューリック銀座ワールドタウンビルに囲まれた銀座4丁目交差点至近にある極めて繁華性・希少性の高い立地。東京メトロ**「銀座駅」に直結**



銀座コアビル（2022年6月時点）

計画概要（予定）

所在地	東京都中央区銀座5-1-4他（地番）
敷地面積	約1,824㎡
規模	地上12階、地下4階
用途	複合商業ビル
竣工	2027年予定

＊2022年2月に1回目、7月に2回目の土地建物売買を実施

（注）いずれの案件も計画段階であり、今後の設計や関係官庁との協議などにより記載事項に変更が生じる可能性があります

2022年初来の新規プロジェクトリリース（地方中核都市）

複数の大型開発・建替プロジェクトの計画概要をリリース

3 心斎橋プロジェクト

- 大阪メトロ**「心斎橋」駅直結**。「心斎橋」の交差点に位置し、高い視認性と繁華性を誇る**エリア最大級の複合施設**を計画
- 商業店舗部分には、ラグジュアリーブランドを複数誘致予定
- 現在、竹中工務店、JR西日本不動産開発、パルコとともに、計4社で事業推進中



計画概要（予定）

所在地	大阪市中央区南船場3-8-4他（地番）
敷地面積	約3,289㎡
延床面積	約46,284㎡
規模	地上28階、地下2階
用途	店舗、事務所、THE GATE HOTEL
竣工	2026年予定

4 ヒューリックスクエア札幌（札幌建替計画）

- ヒューリック札幌NORTH33ビル・ヒューリック札幌ビルの2棟を建替え、ひとつの大型複合施設「ヒューリックスクエア札幌」として開発する計画
- JR札幌駅から徒歩4分、地下通路で**地下鉄「さっぽろ」駅に直結**
- 2022年8月には**Ⅰ期棟が竣工**。事務所（みずほフィナンシャルグループ他）と商業施設の一部が先行オープン



*Ⅰ・Ⅱ期竣工後のイメージ

計画概要（予定）※Ⅰ・Ⅱ期合わせて

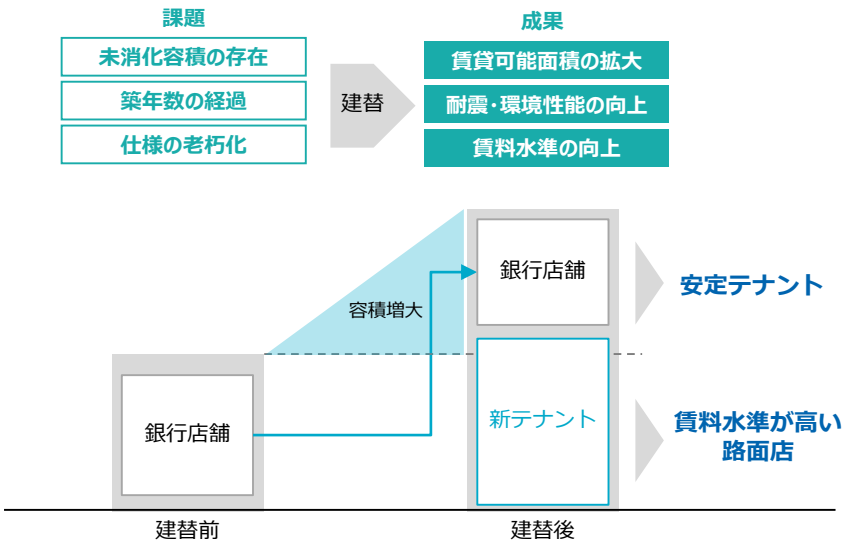
所在地	北海道札幌市中央区北三条西3-1-44
敷地面積	約2,546㎡
延床面積	約33,448㎡
規模	地上20階、地下1階
用途	店舗、事務所、THE GATE HOTEL等
竣工	Ⅰ期棟：2022年 Ⅱ期棟：2025年予定

（注）いずれの案件も計画段階であり、今後の設計や関係官庁との協議などにより記載事項に変更が生じる可能性があります

銀行店舗の建替実績と今後のパイプライン

築古店舗の建替えによる賃貸可能面積の増加及び年間NOIの増益

建替スキーム図



今後の開発

開発計画が進行中



HULIC SQUARE SAPPORO（I/II期）
（北海道札幌市）



ヒューリック福岡ビル建替計画
（福岡県福岡市）



銀座ビル建替計画
（東京都中央区）

パイプライン



ヒューリック大阪ビル
（大阪府大阪市）



ヒューリック新橋ビル
（東京都港区）



ヒューリック青山ビル
（東京都港区）

実績

ヒューリック新宿ビル（東京都新宿区）



商業店舗とオフィスが入居する複合用途ビル
みずほ銀行店舗を空中店舗化

ヒューリック銀座数寄屋橋ビル（東京都中央区）



商業店舗とオフィスが入居する複合用途ビル
キーテナントはみずほ銀行、GAP

世田谷	調布	浅草橋	蒲田	板橋	府中	王子
						
2014年	2015年	2015年	2017年	2018年	2018年	2020年

PPP事業への取り組み　~通算11件のPPP事業の当選実績~

PPP事業とは

- ◆ Public-Private Partnership（官民連携）事業
- ◆ 公共資産（国・地方自治体所有地）の効率的な活用・運用をお手伝い
- ◆ 行政との長期借地契約に基づく開発。土地を仕入れる場合と比較し、高い事業利回りが期待できる

渋谷一丁目地区共同開発事業（事業予定者への選定）

- 東京都と渋谷区が実施した「都市再生ステップアップ・プロジェクト」の事業予定者として、清水建設とともに選定
- 2022年中の基本協定締結、2026年の竣工に向けて事業推進予定



計画概要（予定）

所在地	東京都渋谷区渋谷1-18-3他（地番）
敷地面積	約9,670㎡
延床面積	約46,577㎡
規模	地上14階、地下2階
用途	事務所、賃貸住宅、こども教育施設、店舗、多目的ホール等
竣工	2026年予定

宮崎県東京ビル再整備事業（優先交渉権者への選定）

- 宮城県が実施した「宮崎県東京ビル再整備事業」の優先交渉権者として、当社を代表者とするグループが選定
- 2022年中の基本協定締結、2026年竣工に向けて事業推進予定

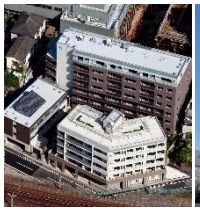


計画概要（予定）

所在地	東京都千代田区九段南4-8-2
敷地面積	約1,439㎡
延床面積	約8,785㎡（うち当社持分約5,211㎡）
規模	地上11階、地下1階
用途	県：フロンティアオフィス、学生寮 民間：オフィス
竣工	2026年予定

（注）いずれの案件も計画段階であり、今後の設計や関係官庁との協議などにより記載事項に変更が生じる可能性があります

実績

ヒューリックレジデンス茗荷谷	ヒューリック浅草橋ビル	永田町ほっかいどうスクエア	品川シーズンテラス	ふふ奈良	立誠ガーデンヒューリック京都	ヒューリック両国リバーセンター	錦糸町開発計画	扇町医誠会病院開発計画（土地）
								
竣工 2010年	2013年	2013年	2015年	2020年	2020年	2020年	2022年12月 (予定)	2023年(予定)

データセンターアセットへの取り組み

都心型・マルチテナントのデータセンター開発を志向

小舟町プロジェクト

- 既存テナントの退去に伴う小舟町記念会館ビルの建替計画
- 都心部で需要の大きい**高い通信接続性を実現**させる、当社データセンター開発の第1号案件

1



予定外観パース（基本設計：日建設計）

計画概要（予定）

所在地	東京都中央区 日本橋小舟町7番1他（地番）
敷地面積	約967㎡（約292坪）
規模	地上8階、地下1階
竣工	2025年予定

（注）外観イメージ等は計画中のものであり、今後の設計や関係官庁との協議などにより変更が生じる場合があります。

塩浜二丁目開発計画

- 東京メトロ「塩浜二丁目用地」土地活用に係るプロポーザルにおいて、当社が選定事業者となったCRE案件
- **国内通信の相互接続点が集積する大手町・豊洲へ至近**かつ、**浸水リスクの小さい立地**であり、都心型データセンターの適地

2



大手町や豊洲に至近な立地

計画概要（予定）

所在地	東京都江東区塩浜2丁目
敷地面積	約16,875㎡（約5,104坪）
交通	東京メトロ「東陽町」駅徒歩10分
竣工	1期 2026年/2期 2028年

データセンターアセットへの投資



住友商事千里ビル（大阪）



ソフトバンク府中ビル（東京）

- 好立地且つ大手安定テナントによる運営施設の取得
- データセンター開発用地の取得推進

今後の開発

	計画名称	所在地	竣工予定
1	小舟町プロジェクト	東京都中央区	2025年
2	塩浜二丁目開発計画	東京都江東区	1期 2026年/2期 2028年
3	（未公表）	東京都江東区	2030年

物流アセットへの取り組み

当社開発の物流施設第一弾「ヒューリックロジスティクス葛西」が竣工（2022年5月）
首都圏エリアでの物流施設開発に注力。現時点で、9件を積み上げ

ヒューリックロジスティクス葛西　竣工

- 2018年に取得した葛西臨海ビルの未消化容積を活用した計画**都心部に近く**、短時間配送と雇用面で高い優位性を持つ物流施設
- **一棟貸で満床契約**済み



所在地	東京都江戸川区 臨海町3-6-5
敷地面積	全体:約19,521㎡ （約5,905坪）
延床面積	約19,923㎡ （約6,026坪）
規模	地上5階

屋上に**太陽光パネル**(設備容量0.6MW)**を設置し、自家消費**

▼



今後の開発

- 首都圏の**人口集積地に近接したエリア**（国道16号沿線付近まで）を中心に開発用地を選定
- **中規模物件**（延床5,000～10,000坪）を志向

1



	計画名称	所在地	建物規模	竣工予定
1	野田市中根物流開発計画	千葉県野田市	約34,300㎡ （約10,390坪）	2023年11月
2	柏市新十余二物流開発計画	千葉県柏市	約20,600㎡ （約6,240坪）	2023年12月
3	相模原物流開発①	神奈川県 相模原市	約62,600㎡ （約18,940坪）	2024年7月

その他、野田物流開発②／相模原物流開発②／相模原物流開発③／松戸物流開発／成田物流開発　の5案件等を計画推進中

リニューアル、増築などあらゆる手法を使い、不動産の持つ価値を最大化

LICOPA鶴見（旧イトーヨーカドー鶴見店）

GMS（総合型スーパー）の大規模バリューアッド案件として、イトーヨーカドー鶴見店をリニューアル。食料品店から、物販店や飲食店、クリニックまで、幅広い業態の計33店舗が出店。2021年9月開業



取得時



バリューアッド後



1F 芝生広場「PARK」

所在地	神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央3-15-30
延床面積	約31,935㎡（約9,660坪）
規模	地上5階、地下1階

LICOPAについて

「LICOPA」は、地域生活の新しい拠点、日常生活の交流ハブ『Life Community Park』のコンセプトのもと、コミュニティの中心地となる場所を目指します

ヒューリックロジスティクス葛西（ヒューリック葛西臨海ビル増築計画）

物件取得時、300%の上限容積率に対し、100%が未利用の状態。既存棟の内装リニューアルを実施したうえで、旧駐車場の敷地に、「新駐車場」と「新物流棟」を増築。ヒューリックロジスティクス葛西として、2022年5月竣工



取得時



バリューアッド後

ヒューリックみなとみらい（コレットマーレ）



JR桜木町駅前の大規模商業施設を取得（2017年土地、2022年建物）。2022年秋にかけて大規模なリニューアルを実施中





高齢者・健康ビジネス

高齢者施設は、早期に業界トップレベルの居室数5,000室(現状3,700室超)体制を構築

高齢者施設への投資

- 好立地且つ優良オペレーターによる運営施設の取得・開発
- 全て長期マスターリース
- 高齢者施設の木造・木質化を検討

【2022年度】竣工2件

- ソナーレ目黒不動前ではエコナビスタ㈱の「高齢者見守り クラウドシステム『ライフリズムナビ®+Dr.』＊」を全室に導入


ソナーレ目黒不動前


ホスピタルメント青山

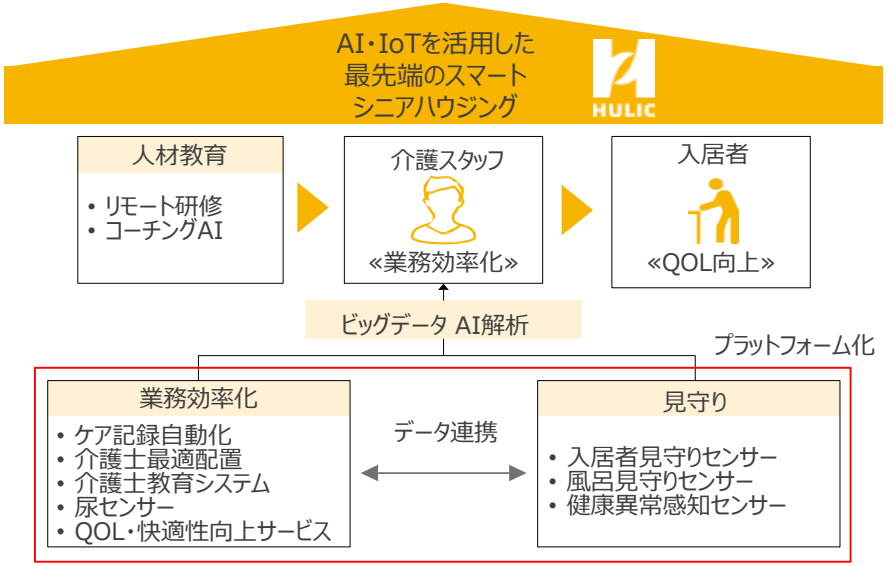
高齢者関連ビジネス

- 病院等の医療関連施設への投資
- その他、ヘルスケアやアクティブシニアに関連するビジネスを創出


ヒューリックプレミアムクラブ日本橋

AI・IoT活用

- スマートシニアハウジング構想
  →見守りセンサーを中心にプラットフォーム化
- エコナビスタ（株）との資本・業務提携



<導入実績>


チャームプレミア山手町


チャームプレミア目黒柿の木坂


チャームプレミアグラン南麻布


ソナーレ目黒不動前

＊睡眠解析技術をベースにしたシステムであり、居室内に設置したセンサーを活用して室内の状況をリアルタイムに把握・共有
介護職員の負担軽減に加え、生活リズムの推移から体調異変や事故の予兆を捉え、予防に役立つシステム

観光ビジネス

高級旅館は高稼働を維持しており堅調
コロナ第6・7波の影響を反映して業績回復は緩やかに推移

賃貸用ホテル

- 有数の観光エリアにおけるホテル投資・開発
- いずれも賃貸テナントからの固定賃料がメインであり、安定収益要因



グランドニッコー東京台場

高級旅館（ふふ）

- **9件開業、今後4件**を予定
- 日本でトップレベルの高級温泉旅館を展開。ブランドコンセプト『スモールラグジュアリーリゾート』
- 都心から2時間程度の距離にある温泉リゾート地において運営
- 軽井沢（2か所）、城ケ島、銀座で開発計画が進行中

ふふ



ふふ箱根

ザ・ゲートホテル

- **4件開業、今後4件**を予定
- ブランドコンセプト『大人に対して本物の価値を提供するホテル』
- 観光客が多く訪れる、浅草、銀座、京都、両国において運営中
- 大阪、札幌、福岡、横浜で開発計画が進行中

THE GATE HOTEL

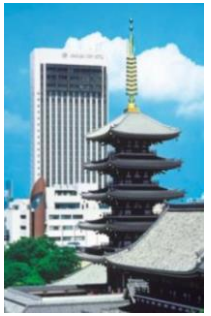


ザ・ゲートホテル東京

日本ビューホテル

- 2019年9月、日本ビューホテルを完全子会社化し、その後経営統合を行うなど、効率化実施
- 経営基盤の強化推進
- 2022年7月、成田VH・伊良湖VHを外部へ事業譲渡

VIEW HOTELS



浅草ビューホテル

足許の状況

コロナ影響から回復途上 長期固定賃料契約の為、 安定収益	コロナ下も好調、新規開発推進中 （平均稼働率80%以上）	エリアを超一等地に厳選し 早期に10棟体制へ	経営管理部門集約による 効率化推進

こども教育事業の取り組み

こども向けワンストップサービスの提供ビル「こどもでぱーと」をシリーズ展開
こども教育関連施設への投資も積極的に実施

「こどもでぱーと」のシリーズ展開

■ リソー教育・コナミスポーツとの業務提携に基づき、こども向けワンストップサービスを提供するビル「こどもでぱーと」のシリーズ展開に着手

リソー教育グループ　KONAMI SPORTS CLUB

【特徴】

①こども教育をメインとした特化型施設

②ワンストップサービスの提供（コンシェルジュ等）

③こどもの安心・安全をはじめとした環境の整備

こども でぱーと
Kodomo Depart

こどもでぱーと　ロゴ

【事業展開】

・ 2029年までに首都圏で20棟程度



こどもでぱーと　外観イメージ



2026年竣工予定

当社が事業予定者に選定された渋谷一丁目地区共同開発事業での展開も予定

その他取り組み

■ リソー教育との関係性強化

- 2020年9月に資本・業務提携をしていたリソー教育との関係性の強化を目的に、2021年10月に同社株式を追加取得（持分法適用会社化）

■ キッズスマイルHDとの業務提携

KIDS SMILE HOLDINGS
キッズスマイル ホールディングス

■ こども教育関連施設への投資

- 保育園ファンドへの出資
（東京23区内の認可保育園15施設）
- クロスシー成城学園前ビルの取得
（学習塾と幼児教室を核とした施設）
- ヒューリック練馬駅前ビル(仮称)の取得
（学習塾を核とした施設）



クロスシー成城学園前ビル

中規模フレキシブルオフィス「Bizflex by HULIC」の取り組み

中規模フレキシブルオフィス「Bizflex」の1号物件が2021年11月に港区麻布十番で開業
2号物件 六本木、3号物件 日本橋3丁目が2023年の開業に向け着工

1



Bizflex by HULIC

Bizflexシリーズを都心で供給開始

入退去時のコストをおさえた柔軟な借り方ができる賃貸システム、テナントの生産性向上をサポートするデジタル技術（DX）を取り入れ、オフィス選びの新しい選択肢としてシリーズ展開中

1 Bizflex麻布十番について

フロア占有利用ができる内装・家具付の貸室と、テナントがシェア利用できるラウンジ・会議室を設置





Bizflex麻布十番

所在地	東京都港区三田1-1-14
アクセス	東京メトロ南北線、 都営地下鉄大江戸線 「麻布十番」駅徒歩3分
基準階	約72坪
竣工/開業	2021年7月/2021年11月

開発中案件

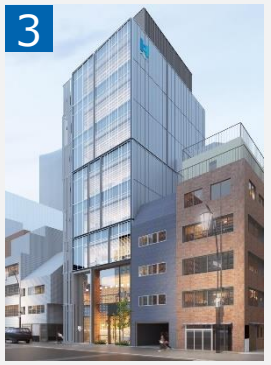
（注）本ページ記載の内容は今後変更になる可能性があります

	計画名称	竣工時期	基準階
2	（仮称）六本木6丁目開発計画	2023年予定	約54坪
3	（仮称）日本橋3丁目開発計画	2023年予定	約43坪
4	（仮称）神田計画	2023年予定	約46坪
5	（仮称）浜松町2丁目開発計画	2023年予定	約43坪

2



3



4



5



プレミアムクラブ・ボードルーム事業への取り組み

「企業経営者」「社外役員」等エグゼクティブの皆様へ「セキュアな環境、空間・サービス」と「スタッフによるサポート」を提供する新規事業を展開

1. ヒューリックプレミアムクラブ日本橋（2019年1月開業）

・ビジネス、リラックス、健康、レジャーの４つのテーマで会員の皆様のあらゆるご要望にお応えするコンテンツ、スタッフサービスを提供


ライブラリーラウンジ


オーディオルーム

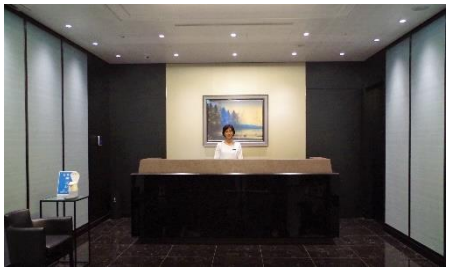

フィットネスジム


ゴルフシュミレーション

2. ヒューリックプレミアムボードルーム日本橋（2020年5月開業）

・顔、虹彩、静脈認証等による高度なセキュリティ環境で、専用個室と秘書サポートによりプレミアムなビジネスサポートサービスを提供


エントランス・レセプション


共通秘書が常駐


専用個室


日本橋を一望できる眺め

サステナビリティの取り組み（E：環境①）

当社の事業運営と全保有建物*1の使用電力を自社保有の再エネ電源から供給し、SBTベースの温室効果ガス排出量削減目標の達成を目指す



温室効果ガス削減目標*2	Scope1+2	●70%削減		●70%削減*3	●実質ゼロ
	Scope3			●30%削減*3	●実質ゼロ

*1 当社がエネルギー管理権原を有さない一棟貸、住宅系、非幹事共有物件と販売用不動産を除く　　*2 基準年：2019年

*3 **SBT認定**の中期目標。Scope1+2はパリ協定に合致した最も野心的な水準である1.5℃目標。Scope3はSBTiのサプライチェーン削減目標の基準に即したベストプラクティスに準ずる

環境配慮への取り組み

再生可能エネルギー発電設備の開発

当社の事業運営と全保有建物*1の使用電力を、100%自社保有の再エネ設備から供給して**2030年までに**100%再エネ化

非FIT制度*2太陽光発電設備に**総額約660億円**を投資予定

- 非FIT太陽光発電設備**31カ所**、設備容量**32MW**が竣工（2022年6月末）
- 安定供給の観点から小水力発電設備(FIT)にも投資。小水力発電施設1か所が稼働中（2022年6月末）



太陽光発電：千葉県千葉市(非FIT)



小水力発電：群馬県川場村(FIT)

＊1 当社がエネルギー管理権原を有さない一棟貸、住宅系、非幹事共有物件と販売用不動産を除く
＊2 再生可能エネルギーの固定価格買取制度を用いないこと

TCFD提言への賛同、情報開示を実施

TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言に基づき、気候変動に関する「2℃以下シナリオ」と「現行推移シナリオ」を用いて、当社の事業戦略のリジリエンスを検討、情報を開示

TCFD TASK FORCE ON CLIMATE-RELATED FINANCIAL DISCLOSURES

木造技術の導入

製造・加工に要するエネルギーの少ない木材を利用し、日本初となる耐火木造建築、HULIC &New GINZA 8が竣工

第25回木材活用コンクール（主催：日本木材青壮年団体連合会）において最優秀賞（国土交通大臣賞）を受賞





HULIC &New GINZA 8（2021年10月竣工）

温室効果ガス削減目標にSBTの認定取得

SCIENCE BASED TARGETS
DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

温室効果ガス排出量削減目標の中期目標（年限2030年）にSBTi*3よりSBT（science-based targets）の認定を取得

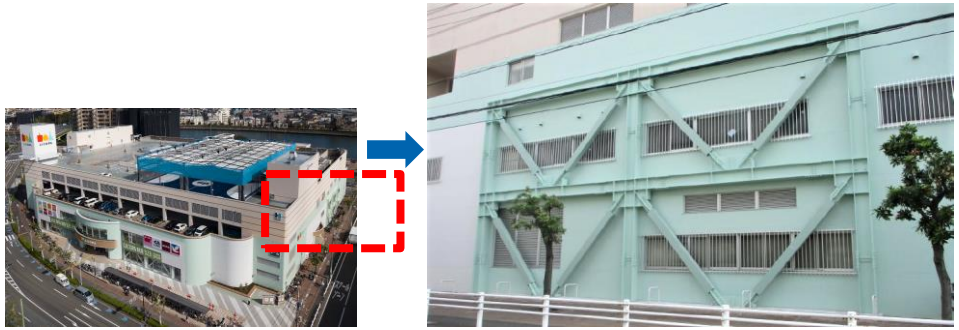
＊3 The Science Based Targets initiative

サステナビリティの取り組み（S：社会）

「安心・安全な建物」の提供に注力。ダイバーシティ＆インクルージョンを推進。社会貢献活動も幅広に実施

地震対策・お客さまの安全への取り組み

- 2029年までに**賃貸ポートフォリオを100%高耐震ビル化**
  - ✓ 高耐震ビル **81%** （2021年12月末）
- 法令より厳しい社内基準を設定
  - ✓ 開発・建替物件：建築基準法耐震基準以上の社内ガイドライン
  - ✓ 取得物件：震度7クラスの地震に耐えうる耐震性
- 富士山の噴火を想定した火山灰対策を検討中



LICOPA鶴見の耐震補強

文化・スポーツ振興支援

- 日本将棋連盟への支援：「ヒューリック杯白玲戦・女流順位戦」の設立・主催、「ヒューリック杯棋聖戦」への特別協賛
- 日本パラバドミントン連盟への長期支援：長期協賛及び練習用体育館の無償提供



日本将棋連盟への支援
（第93期ヒューリック杯棋聖戦の対局）

ダイバーシティとワークライフバランスの推進

- 障がい者雇用の推進：
  2021年雇用比率：2.54%（連結）、**7.38%**（単体）
- 女性活躍の促進：性差のない新卒採用戦略（**女性管理職比率：2021年実績22.4%、**2024年目標25%）
- 従業員のワークライフバランス促進：事業所内保育所の設置、出産祝い金の支給、こども休暇の付与等子育て支援。働き方改革の推進（**2021年度有給休暇取得率：81.5%**）
- 外部からの評価：プラチナくるみん認定取得
  健康経営優良法人2022（中小規模法人部門）認定　等

プラチナくるみん 子育てサポートしています

2022 健康経営優良法人 Health and productivity

社会貢献への取り組み

- 日本介助犬協会への協賛、防災備蓄食料をフードバンクへ寄贈、ひとり親世帯への食料支援
- 近隣小学校への図書寄贈、本社の近隣にお住まいの方向けのヒューリック大伝馬夏祭りの開催、町内会へのおみこし等の寄贈
- ヒューリック介護福祉士養成奨学金制度の運営　等

サステナビリティの取り組み（G：ガバナンス）

内部統制、リスク管理、コンプライアンス、開示統制が十分機能したコーポレートガバナンス体制を強化

当社の主な実績 【G：ガバナンス】

- **取締役会議長を非業務執行化。業務執行と非業務執行取締役が同数に**
- 全10名の取締役のうち、**独立社外取締役4名（うち女性取締役1名）**
- 全5名の監査役のうち、常勤監査役2名、**独立社外監査役3名**
- **役員の株式報酬制度導入**（役員報酬を基本報酬と業績連動報酬で構成し、業績連動部分に中長期的視点から株式報酬を導入）
- 指名諮問委員会・報酬諮問委員会を設置。全社外取締役4名をメンバーとする
- **2021年6月に改訂されたコーポレート・ガバナンスコードに対応した情報開示**を実施（2021年12月）
- BCP体制の高度化（BCPマニュアルの改善及び平準化、訓練内容の充実(個別訓練含め4回実施)）
- 東証**プライム市場への移行**（2022年4月～）

これらのサステナビリティの取り組みの結果

◆ **ESG投資銘柄**
- GPIFが運用対象とする5つの国内株価指数の**すべてに構成銘柄として継続選定**
- MSCIのESG格付では、国内不動産ディベロッパーとしては最高のAAを取得

FTSE Blossom Japan

FTSE Blossom Japan Sector Relative Index

2022 CONSTITUENT MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数

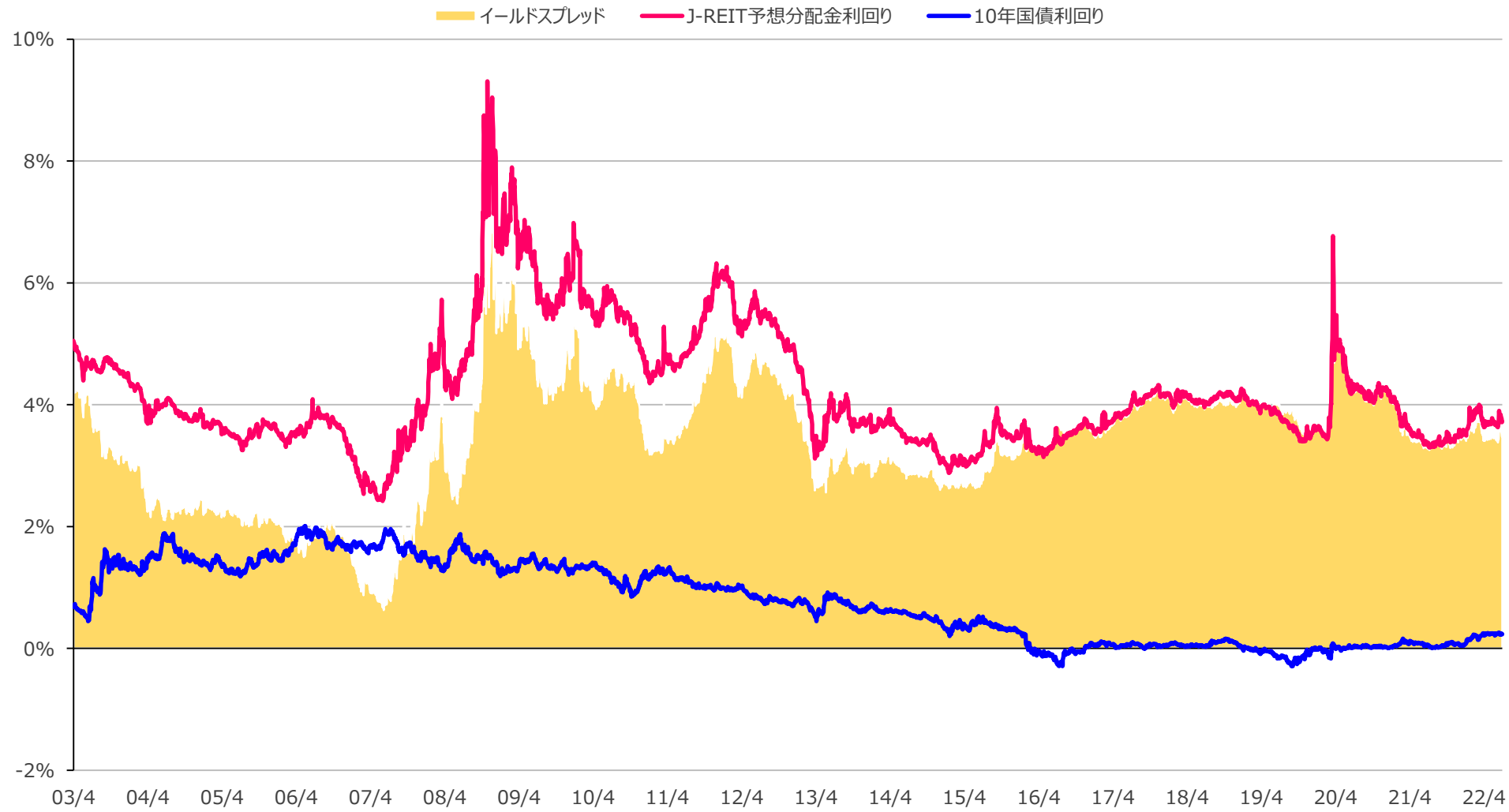
2022 CONSTITUENT MSCI日本株女性活躍指数 (WIN)

S&P/JPX カーボンエフィシェント指数

＜参考資料＞

＜参考資料＞マクロ環境(1) イールドスプレッド

2003年4月以降のイールドスプレッド推移（日次）



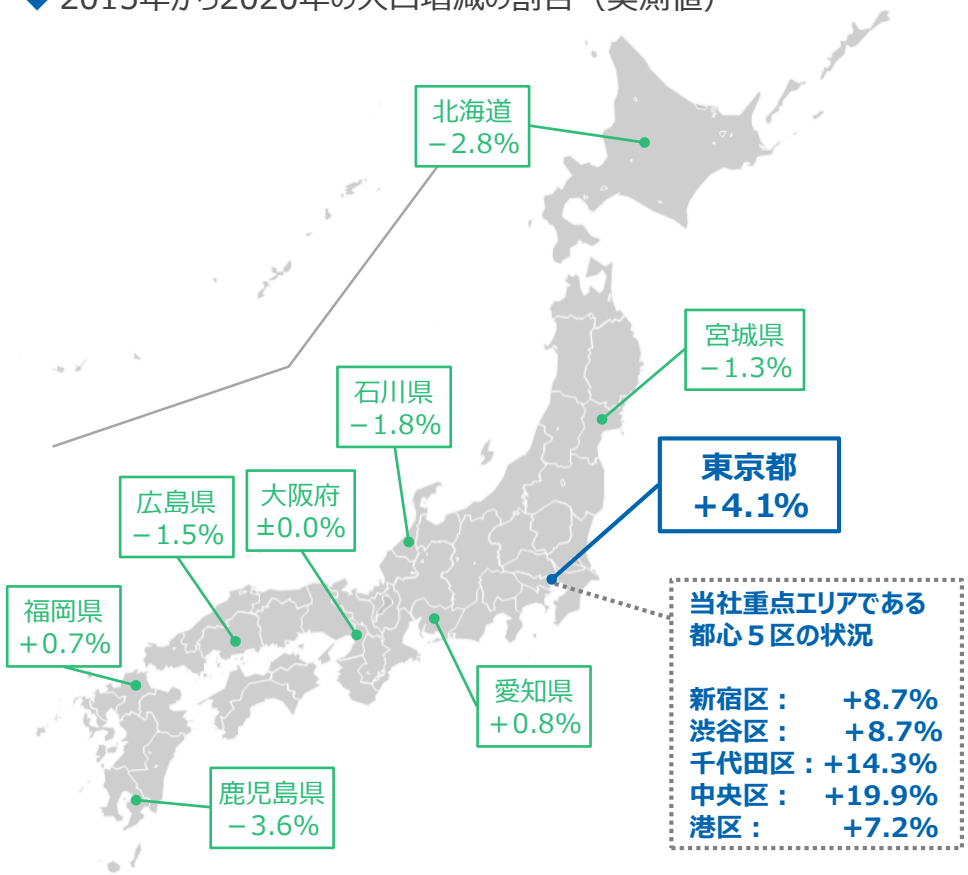
出所：Quick及び各社公表資料
注： J-REIT予想分配金利回りは、各銘柄の予想分配金を2倍し、各日の投資口価格で割り、個別銘柄の予想分配金利回りを算出し、それを時価総額にて加重平均
イールドスプレッドは、J-REIT分配金利回りから10年国債利回りを差し引いて算出
時点：2003年4月1日～2022年6月30日（日次）

＜参考資料＞マクロ環境(2)　人口増減の状況と推計

人口は東京都で増加、地方都市で減少の傾向。都心五区の人口増加が顕著

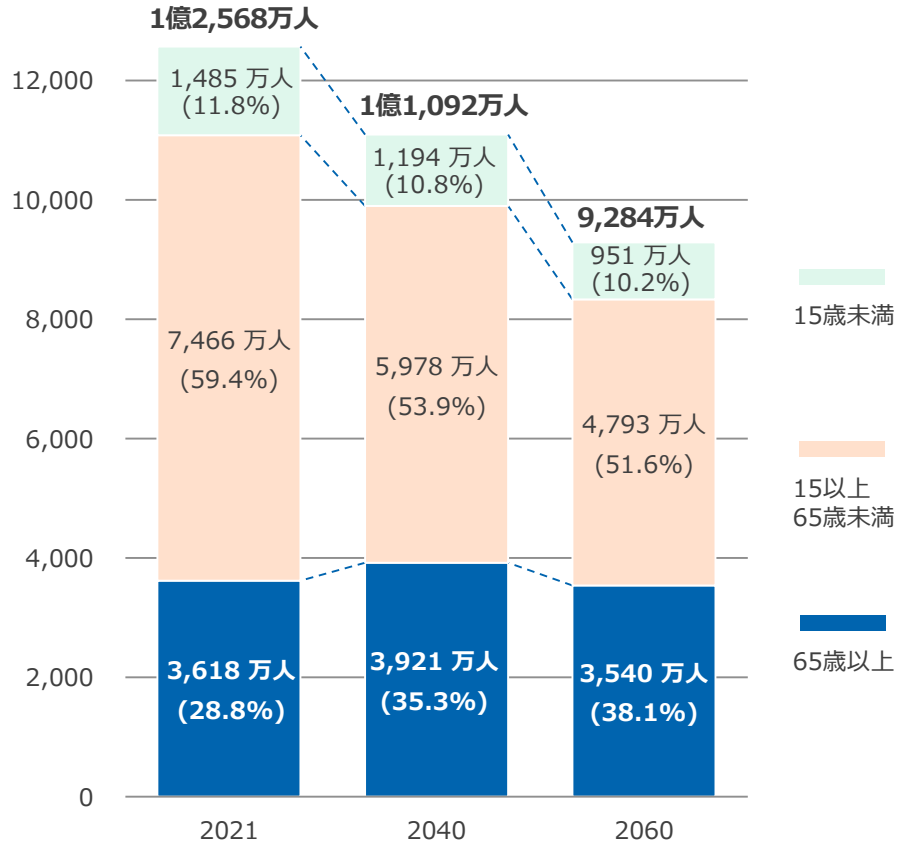
都道府県別人口増減

◆ 2015年から2020年の人口増減の割合（実測値）



出典：総務省　令和2年国勢調査　人口速報集計

人口構成比率推計



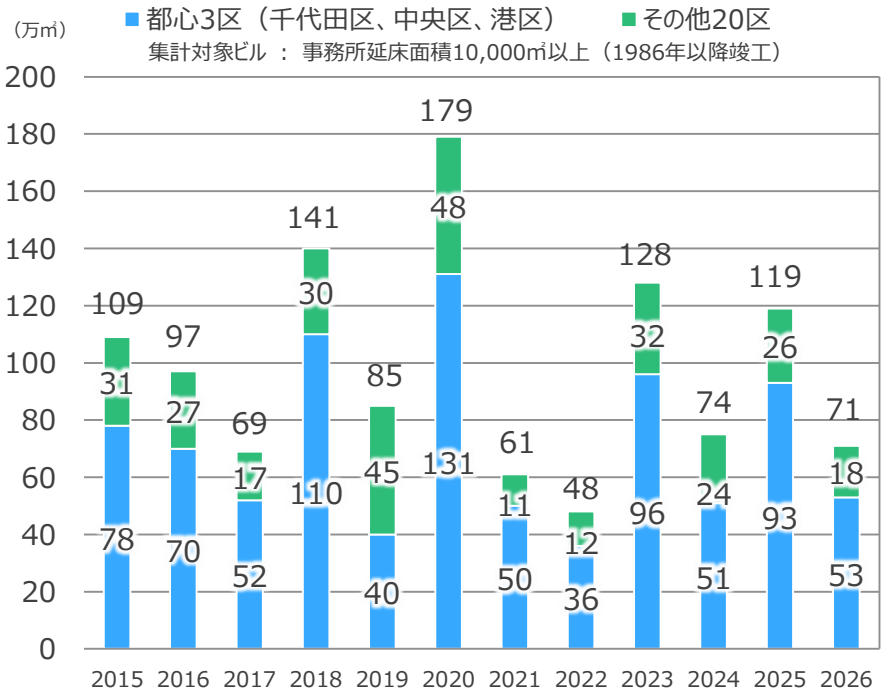
出典：2021年は2021年7月1日時点確定値「総務省統計局人口推計 2021年12月20日公表」
2040年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（2017年推計）」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果

＜参考資料＞マクロ環境(3)　今後の不動産需給

大規模オフィスビル供給量は、今後も相応な見込み
中古住宅の空き家問題は深刻。都心の賃貸マンションは安定高稼働

東京エリア別　大規模オフィスビルの供給量

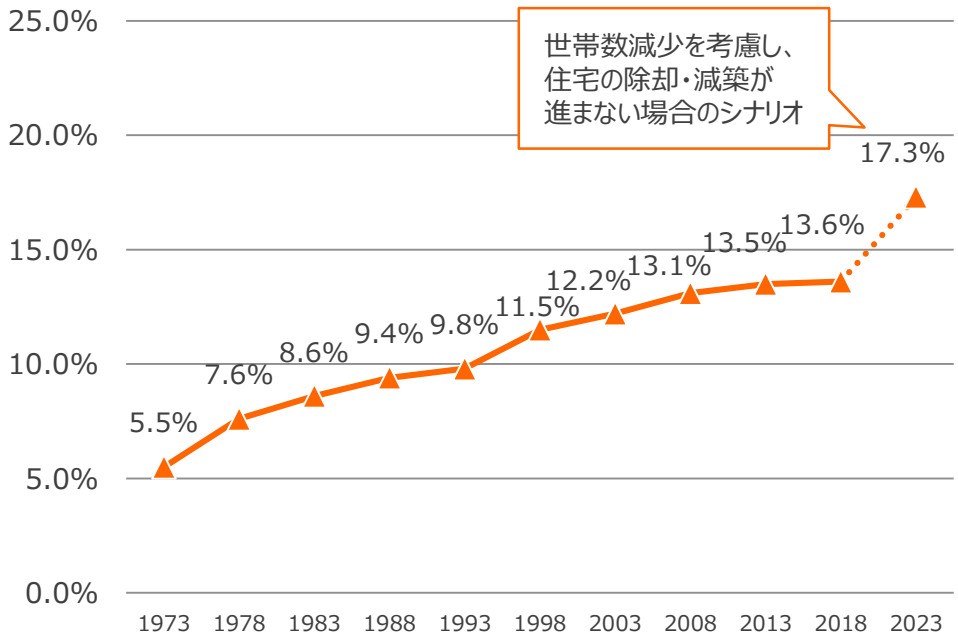
◆ 今後の大規模オフィスビル供給は、爬行性はあるも高い水準が見込まれる



出典：森ビル株式会社「東京23区の大規模オフィスビル市場動向調査」（2022/5/27）

住宅の空き家率推移及び推計

◆ 空き家率の増加により住宅マーケットは鈍化の見込み



出典：実績部分は総務省「平成30年住宅・土地統計調査」
予想部分は（株）野村総合研究所「第337回NRIメディアフォーラム　2040年の住宅市場と課題」(2022/6/9)
注　：空き家率 = 空き家数 / 総住宅数

＜参考資料＞会社プロフィール(1)　事業戦略

事業領域の拡大

資産の多様化

既存事業		新規事業
賃貸事業	開発・建替事業	マーケットニーズを捉えた新たな取り組み ・Bizflex事業 ・こども教育事業　等
バリューアッド事業	新規取得（M&A含む）	
公募REIT	私募REIT	

時代のニーズに即した成長分野の取組み

高齢者・観光・環境	
&New（都市型商業施設）	物流施設・データセンター等

“選択と集中”のポートフォリオ戦略

注力	非注力
東京・駅近	地方オフィス
中規模オフィス	Sクラスオフィス
建替・中小規模開発	大規模開発
高齢者向け施設	マンション分譲
観光ホテル・旅館	海外投資

＜参考資料＞会社プロフィール(2)　事業の特長

リスク回避型のビジネスモデル

賃貸収益中心	▶	継続的に安定した収益構造
東京・駅近のオフィス物件中心	▶	低い空室率 / 高い家賃 / 大きな含み益
海外保有資産なし	▶	為替リスクや地政学的なリスクの回避
マンション分譲を手掛けない	▶	少子化・世帯構成の変化、景気変動などの影響の軽減
借入の長期固定化シフト	▶	金利上昇リスクを回避しつつ、マイナス金利政策の下で圧倒的な低利安定調達を実現

＜参考資料＞会社プロフィール(3)　重点エリア

都心の主要エリア及び観光の要地である浅草エリアに豊富な物件を保有

新宿東口エリア


ヒューリック
新宿ビル


HULIC &New
SHINJUKU



浅草エリア


THE GATE HOTEL
雷門 by HULIC


浅草ビューホテル

渋谷・青山エリア


HULIC &New
SHIBUYA


ヒューリック神宮前
タワービルディング

HULIC &New
UDAGAWA


渋谷 パルコ・
ヒューリックビル


渋谷宇田川町17
開発計画

宇田川町36
開発計画

銀座・有楽町エリア



ヒューリック
銀座数寄屋橋ビル


HULIC SQUARE
TOKYO


リクルート銀座
8丁目ビル

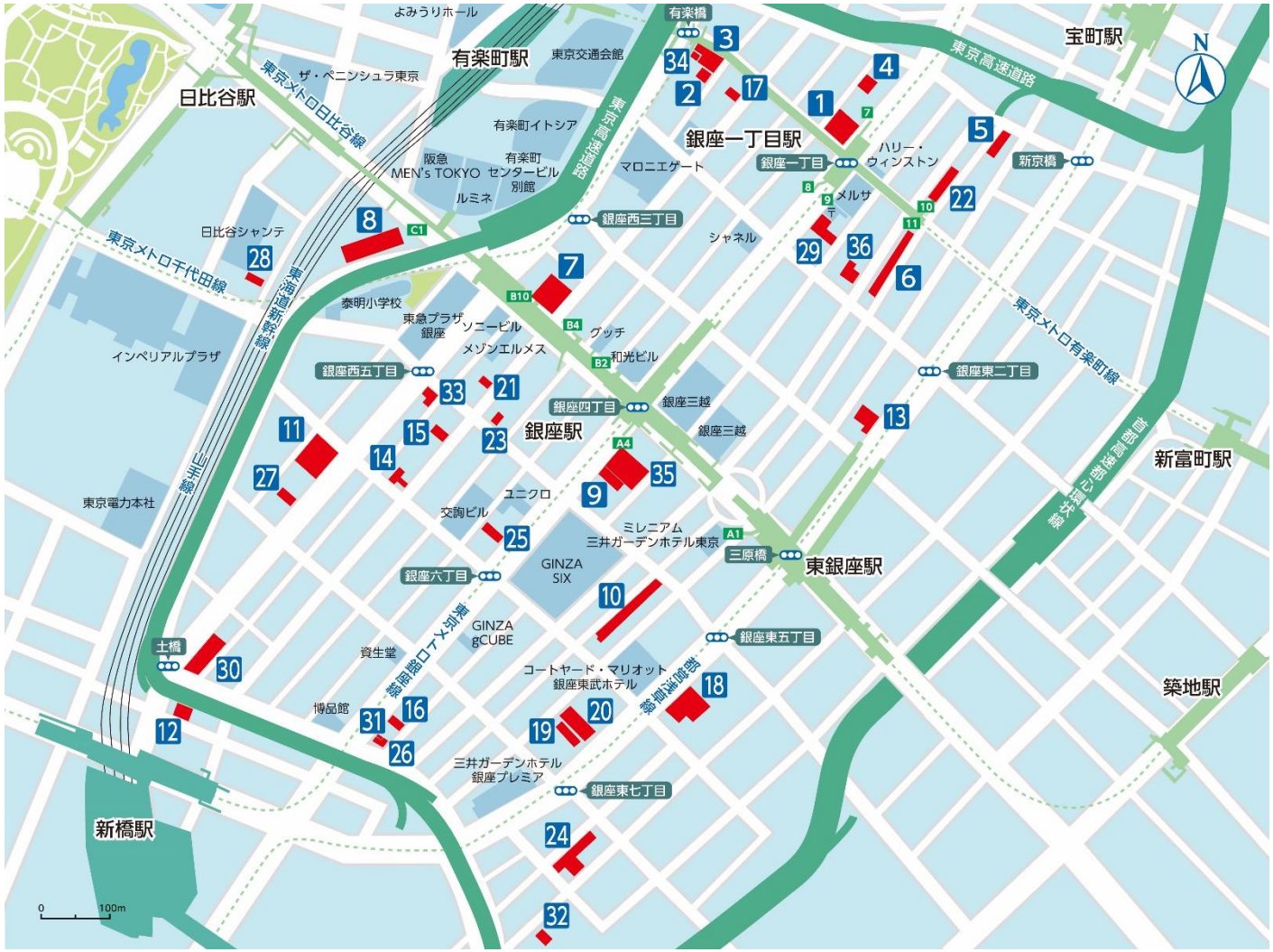
ヒューリック銀座
ワールドタウンビル


HULIC &New
GINZA 8


HULIC &New
GINZA NAMIKI 6

＜参考資料＞会社プロフィール(4)　銀座・有楽町エリアの保有物件

日本屈指の高級商業地である銀座・有楽町エリアに全37物件



1. 銀座ビル建替計画
2. ヒューリック西銀座第二ビル
3. ヒューリック西銀座ビル
4. ヒューリック銀座一丁目ガス灯通
5. ヒューリック銀座一丁目開発計画
6. ヒューリック銀座二丁目ビル
7. ヒューリック銀座数寄屋橋ビル
8. HULIC SQUARE TOKYO
9. ヒューリック銀座ワールドタウンビル
10. ヒューリック銀座ウォールビル
11. ヒューリック銀座7丁目ビル
12. G１０
13. ヒューリック銀座三丁目ビル
14. ヒューリック銀座6丁目ビル
15. HULIC &New GINZA NAMIKI 6
16. HULIC &New GINZA 8
17. ヒューリック銀座二丁目並木通り
18. 銀座6丁目昭和通り開発計画
19. ヒューリック銀座七丁目昭和通ビル
20. 第2丸高ビル
21. ヒューリック銀座五丁目並木通
22. 銀座ファーストビル（区分所有）
23. 銀座5丁目みゆき通ビル開発計画
24. THE HUB 銀座 OCT
25. 近畿建物銀座ビル
26. 銀座天國ビル
27. HULIC &New GINZA 7
28. オーキッドスクエア
29. ティファニー銀座ビル（当社出資のSPCが保有）
30. リクルート銀座8丁目ビル
31. 銀座リヨンビル
32. ヒューリック銀座木挽町ビル
33. ブリオーニ銀座ビル（60%）
34. 美豊ビル　　35. 銀座コアビル（共有）
36. 木挽館銀座ビル　　37. 非開示

＜参考資料＞会社プロフィール(5)　新宿東口エリアの保有物件

大型商業施設が集積し、昼夜を問わず賑わう新宿東口エリアに全8物件



1. ヒューリック新宿ビル
2. HULIC &New SHINJUKU
3. ヒューリック新宿三丁目ビル
4. アイ・アンド・イー新宿ビル
5. ヒューリック新宿新南口ビル
6. ヒューリック新宿五丁目ビル
7. 新宿318開発計画
8. 非開示（当社出資のSPCが一部を保有）

＜参考資料＞会社プロフィール(6)　浅草エリアの保有物件

日本ビューホテル完全子会社化により浅草エリアに全6物件



1. ザ・ゲートホテル 雷門 by HULIC
2. ウインズ浅草ビル
3. 浅草パークホールビル
4. ヒューリック浅草一丁目
5. 浅草ビューホテル
6. HULIC &New 雷門

＜参考資料＞会社プロフィール(7)　渋谷・青山エリアの保有物件

流行の発信地としてにぎわう渋谷・青山エリアに全25物件

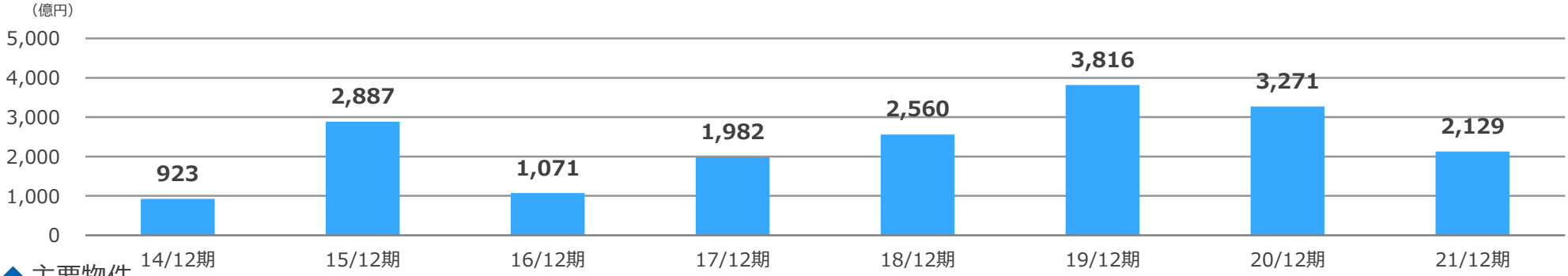


1. ヒューリック渋谷ビル
2. ヒューリック渋谷第二ビル
3. ヒューリック青山第二ビル
4. CR-VITE
5. ヒューリック渋谷二丁目ビル
6. ヒューリック渋谷宇田川町ビル*
7. HULIC &New SHIBUYA
8. HULIC &New UDAGAWA
9. 渋谷　パルコ・ヒューリックビル（オフィス部分）
10. ヒューリック青山ビル
11. ヴァンセットビル
12. ヒューリック南青山ビル
13. ヒューリック神宮前タワービルディング
14. ヒューリック渋谷センター街
15. 渋谷四丁目開発計画
16. パセラ渋谷
17. 渋谷宇田川町17開発計画
18. クオーツタワー
19. 宇田川町36開発計画
20. チャームプレミアグラン松濤
21. 南青山4丁目ビル
22. 非開示

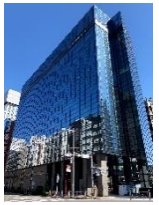
*隣地3物件を含む

＜参考資料＞会社プロフィール(8)　今までの投資実績と主要物件

設備投資額（固定資産の増加額）



◆ 主要物件

建替・開発竣工	 ヒューリック新宿ビル	 ヒューリック虎ノ門ビル	 相鉄フレッサイン銀座七丁目	 HULIC &New SHIBUYA	 HULIC SQUARE TOKYO	 渋谷　パルコ・ヒューリックビル	 ヒューリックJP赤坂ビル	 HULIC &New SHINJUKU
新規取得	 ヒューリック銀座二丁目ビル	 G10	 グランドニッコー東京 台場	 ヒューリックみなとみらい(底地)	 イトーヨーカドー鶴見店（LICOPA鶴見）	 ヒューリック神宮前タワービルディング	 ヒューリック新宿五丁目ビル	 リクルート銀座8丁目ビル
M&A	 グランドニッコー東京ベイ舞浜	SIA合併（全12物件）  東京ベイ舞浜ホテル	 ヤマト羽田ビル	 ヒューリック南青山ビル	 住友商事千里ビル	日本ビューホテル  浅草ビューホテル	 晴海アイランド　トリトンスクエア　オフィスタワーY	 ヒューリック新宿新南口ビル

＜参考資料＞会社プロフィール(9)　商業施設の状況

プライムエリアにおける安定した需要と顧客ニーズ変化を踏まえた柔軟かつ戦略的に対応可能な事業戦略を展開

都心プライムエリア

- 銀座、渋谷・青山、新宿東口といったプライムエリアのブランド価値
- 国際的ハイブランドを中心としたテナントによる旗艦店としての出店意義



ティファニー銀座ビル



ヒューリック銀座ワールドタウンビル



ヒューリック銀座数寄屋橋ビル

&New

- コンセプトは『新しい(New)暮らしの付加価値(&)』
- 「都市型中規模コンパクト商業施設」として、"存在感のある商業ビル"をシリーズ展開。現在10棟が開業済。


HULIC &New
SHIBUYA


HULIC &New
SHINJUKU


HULIC &New
GINZA 8


HULIC &New
UDAGAWA


HULIC &New
KICHIJOJI


HULIC &New
GINZA NAMIKI 6

大型バリューアッド等

- CRE戦略を活用したソーシング力を活かし、バリューアッド等のポテンシャルを有するアセットへ投資
- イトーヨーカドーを含めた郊外型商業施設における大型バリューアッド等


LICOPA鶴見（旧イトーヨーカドー鶴見店）


ヒューリックみなとみらい

＜参考資料＞会社プロフィール(10)　高齢者施設一覧

ヒューリック保有物件

	物件名称	所在	竣工/取得年度	室数
1	アイリスガーデン北浦和	埼玉県さいたま市	2010年	48
2	アリスタージュ経堂	東京都世田谷区	2012年	146
3	アリア代々木上原	東京都渋谷区	2013年	40
4	チャームスイート西宮浜	兵庫県西宮市	2015年	50
5	リアンレーヴ八雲	東京都目黒区		41
6	ライフコミューン葉山	神奈川県三浦郡	2016年	48
7	ライフコミューンつつじヶ丘	東京都三鷹市		101
8	メディカルホームグランダ岡本	兵庫県神戸市	2017年	67
9	チャームプレミア深沢	東京都世田谷区		85
10	そんぽの家狛江	東京都狛江市	2018年	33
11	アズハイム大泉学園	東京都練馬区		50
12	チャームプレミア田園調布	東京都世田谷区		40
13	鎌倉碧邸	神奈川県鎌倉市		26
14	ソナーレ石神井	東京都練馬区		52
15	ホスピタルメント本郷	東京都文京区	2019年	46
16	深川やすらぎの園	東京都江東区		69
17	チャームプレミア代々木初台	東京都渋谷区		36
18	トラストガーデン荻窪	東京都杉並区		51
19	グッドケア・西東京	東京都西東京市		52
20	チャームプレミア山手町	神奈川県横浜市		36
21	ﾒﾃﾞｨｶﾙ・ﾘﾋﾞﾘﾎｰﾑまどか大宮	埼玉県さいたま市	2020年	58
22	チャームプレミア永福	東京都杉並区		48
23	チャームプレミア目黒柿の木坂	東京都目黒区		37
24	チャームプレミアグラン松濤	東京都渋谷区		36
25	チャームプレミアグラン南麻布	東京都港区		32
26	ホスピタルメント四谷大京町	東京都新宿区	2021年	61
27	ツクイ・サンシャイン成城	東京都世田谷区		121
28	ﾘﾊﾋﾞﾘﾎｰﾑ･ｸﾞﾗﾝﾀﾞ鵠沼（底地）	神奈川県藤沢市		46
29	アリア哲学堂	東京都中野区		43
30	グッドタイムリビング新浦安	千葉県浦安市		76
31	ソナーレ目黒不動前	東京都目黒区	2022年	58
32	ホスピタルメント青山	東京都渋谷区		53

開発中物件

	物件名称	所在	竣工/取得年度	室数
1	弁天町シニア開発計画	東京都新宿区	2025年予定	55(予定)

ヒューリック関連リート等保有物件

	物件名称	所在	竣工/取得年度	室数
1	トラストガーデン桜新町	東京都世田谷区	2012年	86
2	トラストガーデン用賀の杜	東京都世田谷区		129
3	トラストガーデン杉並宮前	東京都杉並区		100
4	アリア松原	東京都世田谷区	2009年	96
5	トラストガーデン常磐松	東京都渋谷区	2016年	50
6	SOMPOケアラヴィ―レ北鎌倉	神奈川県鎌倉市	2009年	98
7	サニーライフ東京新宿	東京都新宿区	2014年	141
8	ホスピタルメント板橋ときわ台	東京都板橋区	2016年	92
9	チャームスイート石神井公園	東京都練馬区	2014年	105
10	チャームスイート新宿戸山	東京都新宿区	2015年	90
11	豊洲シニアレジデンス	東京都江東区	2019年	186
12	ホスピタルメント武蔵野	東京都武蔵野市	2013年	114
13	チャームスイート調布	東京都調布市	2017年	84
14	エスペラル城東	大阪府大阪市	2013年	286
15	ニチイホーム元住吉	神奈川県川崎市	2019年	52
16	グランダ大森山王	東京都大田区	2011年	70
17	浅草ケアパークそよ風	東京都台東区	2016年	41
18	グランダ学芸大学	東京都目黒区	2013年	70
19	グッドタイムホーム・多摩川	東京都大田区	2018年	41

室数合計	3,772室

＜参考資料＞会社プロフィール(11)

THE GATE HOTEL ザ・ゲートホテルシリーズ

THE GATE HOTEL 京都高瀬川 PPP事業



関西エリア第1号。8Fのロビーレストランからは東山のパノラマビューを臨みます





THE GATE HOTEL 両国 PPP事業

デザインコンセプトは「TIME&RIVER」。両国の江戸文化を感じながら、隅田川の穏やかな流れや両国国技館、スカイツリー等の眺望をお楽しみいただけます







THE GATE HOTEL 雷門



2022年8月に開業10周年

THE GATE HOTEL 東京



銀座を一望できるプレミアムラウンジ

開発中の案件



福岡・天神
※10~19階部分



札幌
※Ⅱ期棟10~20階部分



横浜



大阪・心斎橋
※16~28階部分

自社開発

ふふ河口湖



ふふ奈良 PPP事業



ふふ日光



ふふ熱海 別邸 木の間の月



ふふ京都



ふふ箱根



外部取得

ふふ熱海



箱根翠松園



ATAMI海峯楼



開発中の案件



軽井沢・雲場池



軽井沢・長倉



東京・銀座



三浦半島・城ヶ島

＜参考資料＞会社プロフィール(13) ホテル・高級旅館 施設一覧

ゲートホテル（自社運営）			
	物件名称	開業	室数
1	ザ・ゲートホテル雷門	2012年	134
2	ザ・ゲートホテル東京	2018年	164
3	ザ・ゲートホテル京都高瀬川	2020年	184
4	ザ・ゲートホテル両国		126
5	ザ・ゲートホテル大阪	－	680（予定）
6	ザ・ゲートホテル札幌		
7	ザ・ゲートホテル福岡		
8	ザ・ゲートホテル横浜		
9	東京ベイ舞浜ホテル＊	2015年	428
		合計	1,716

高級温泉旅館(ふふシリーズ、自社経営)			
	物件名称	取得・開業(予定)	室数
1	箱根翠松園	2015年	23
2	ふふ熱海		26
3	ATAMI海峯楼	2016年	4
4	ふふ河口湖	2018年	32
5	ふふ奈良	2020年	30
6	ふふ日光		24
7	ふふ熱海 別邸 木の間の月	2021年	6
8	ふふ京都		40
9	ふふ箱根	2022年	39
10～13	軽井沢（2件）、城ヶ島、銀座	－	116（予定）
		合計	340

日本ビューホテル（自社運営）			
	物件名称	開業(予定)	室数
1	浅草ビューホテル	1985年	326
2	両国ビューホテル	2015年	150
3	大阪ビューホテル本町	2018年	170
4	札幌ビューホテル大通公園	2017年	347
5	浅草ビューホテルアネックス六区	2021年	199
		合計	1,192

ホテル投資（他社運営）			
	物件名称	取得・竣工	室数
1	メルキュールホテル銀座東京	2014年	208
2	グランドニッコー東京ベイ舞浜(共有)		703
3	グランドニッコー東京 台場	2016年	882
4	相鉄フレッサイン東京六本木		201
5	相鉄フレッサイン銀座（REIT拠出）		286
6	ニューオータニイン横浜プレミアム	2017年	240
7	ホテル日航金沢	2018年	254
8	MIMARU京都 堀川六角		42
9	銀座キャピタルホテル 萌木(REIT拠出)		136
10	ホテルJAL CITY関内	2019年	170
11	相鉄フレッサイン新橋烏森口	2020年	220
12~14	銀座3物件	2024年以降	725（予定）
		合計	4,067

客室数合計	7,315室

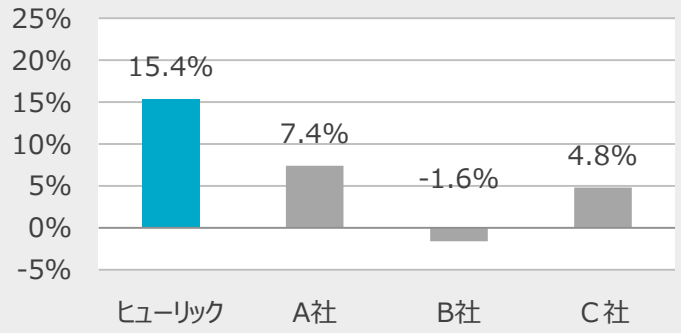
＊2022年3月31日にヒューリックホテルマネジメントの子会社となりました

＜参考資料＞会社プロフィール(14) バランス経営

成長性

◆ 経常利益の年平均伸率は**+15.4%**
◆ 上場来最高益を連続更新中

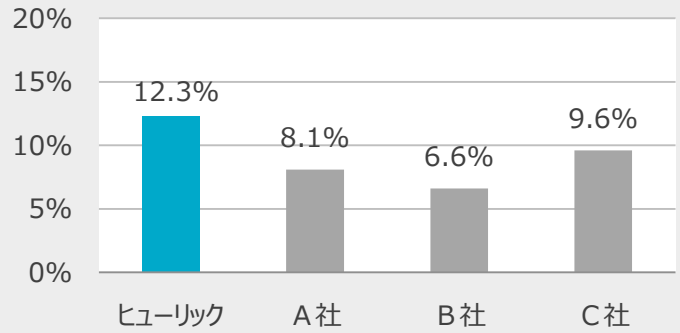
経常利益年平均伸率（過去5期）



生産性（効率性）

◆ ROE **12.3%**
◆ 従業員一人当たりの利益を重視

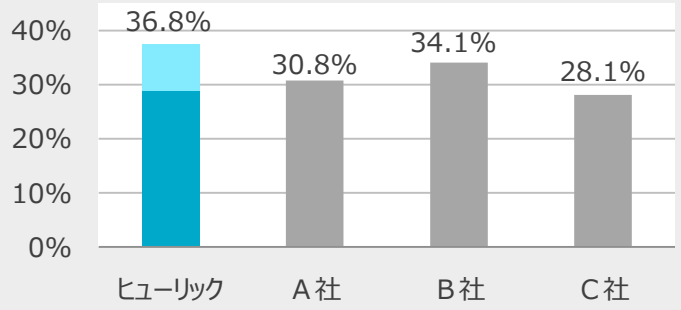
ROE



安全性

◆ 自己資本比率 28.8%（HBF調整後**36.8%**）
◆ 外部格付AA-(安定的)

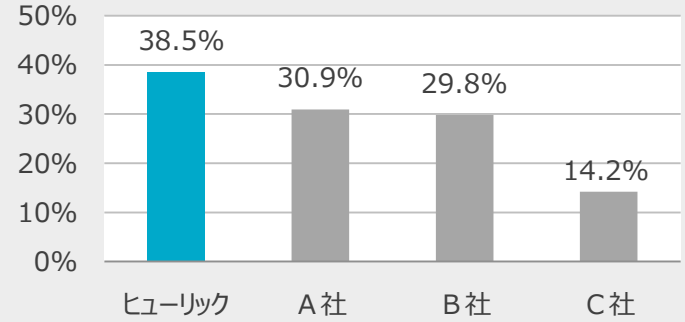
自己資本比率



株主還元

◆ 配当性向 **38.5%**
（短信ベース）

配当性向



（注）ヒューリックは21/12期、他3社は22/3期。経常利益年平均伸率は、直近5年間の経常利益をもとに算出

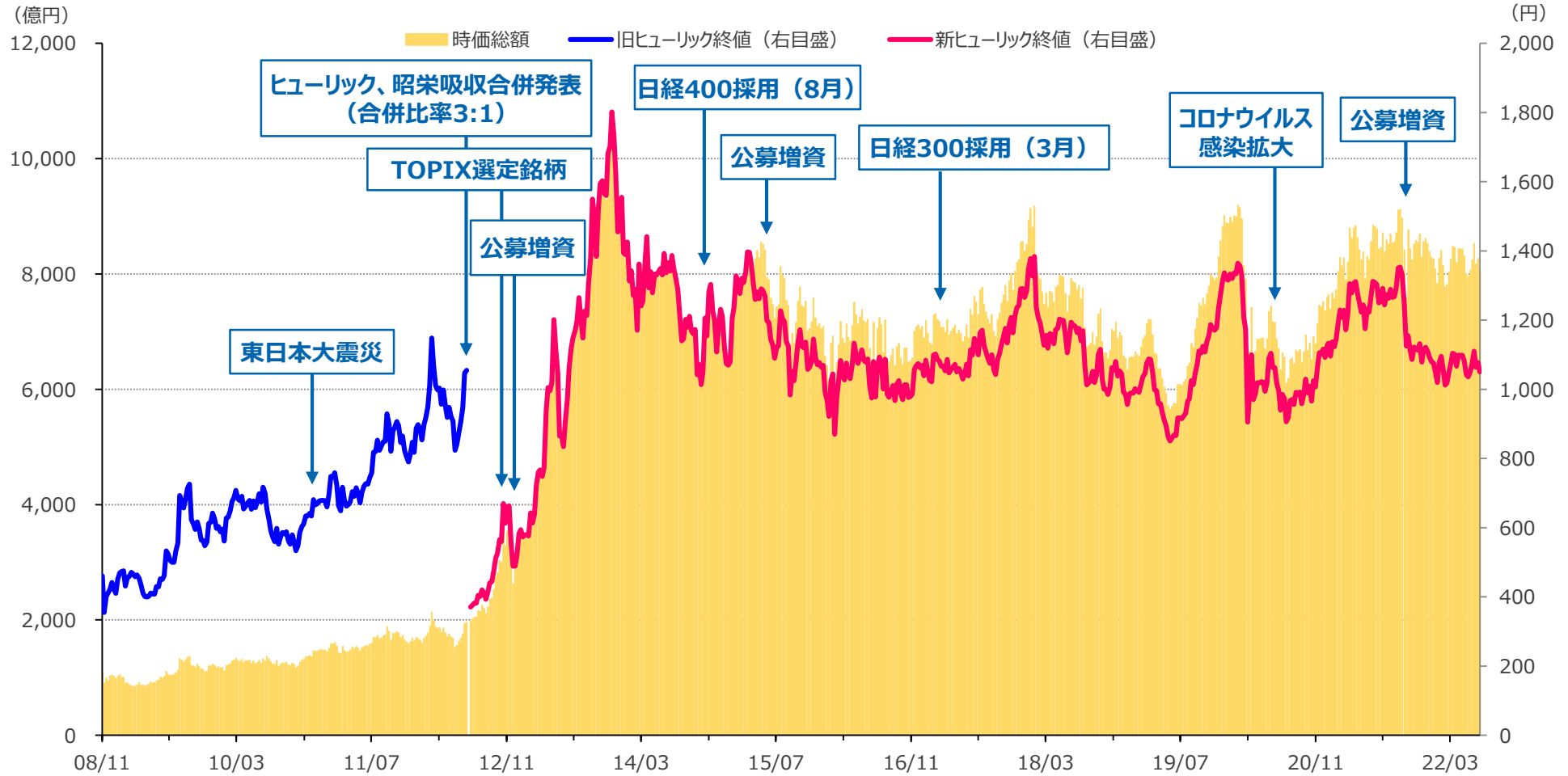
＜参考資料＞会社プロフィール(15) 大株主の構成（上位10社）

上位10社	2022年6月末*
1. 日本マスタートラスト信託銀行（株）（信託口）	8.48%
2. 明治安田生命保険（相）	6.21%
3. 損害保険ジャパン（株）	5.51%
4. 東京建物（株）	5.31%
5. 芙蓉総合リース（株）	5.30%
6. 安田不動産（株）	4.01%
7. 沖電気工業（株）	3.73%
8. 安田倉庫（株）	3.70%
9. みずほキャピタル（株）	3.33%
10. （株）日本カストディ銀行（信託口）	3.02%
計	48.60%
外国人持株比率	16.71%

*上位10社の持株比率は自己株式を控除して計算

＜参考資料＞会社プロフィール(16)　時価総額・株価推移

時価総額及び終値の推移　（週次、2008/11/14～2022/6/30）



時価総額

2008年12月末	2009年12月末	2010年12月末	2011年12月末	2012年12月末	2013年12月末	2014年12月末	2015年12月末	2016年12月末	2017年12月末	2018年12月末	2019年12月末	2020年12月末	2021年12月末	2022年6月末
600億円	875億円	1,150億円	1,541億円	3,463億円	9,263億円	7,220億円	7,082億円	6,887億円	8,394億円	6,531億円	8,869億円	7,635億円	8,386億円	8,063億円
株価@410円	株価@598円	株価@670円	株価@898円	株価@583円 （旧ベース@1,749円）	株価@1,555円 （旧ベース@4,665円）	株価@1,211円 （旧ベース@3,633円）	株価@1,069円 （旧ベース@3,207円）	株価@1,039円 （旧ベース@3,117円）	株価@1,266円 （旧ベース@3,798円）	株価@985円 （旧ベース@2,955円）	株価@1,316円 （旧ベース@3,948円）	株価@1,133円 （旧ベース@3,399円）	株価@1,092円 （旧ベース@3,276円）	株価@1,050円 （旧ベース@3,150円）

＜参考資料＞会社プロフィール(17)　当社広告









ご案内

本資料に記載された見解、見通し、ならびに予測等は、資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。市場環境等の様々な要因により、今後の業績は本資料の内容と異なるものとなる可能性があります。
また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、ご利用者自身の判断においておこなわれるようお願い申し上げます。

サステナビリティの取り組みに記載の外部評価に関する免責事項：

ヒューリック株式会社のMSCIインデックスへの組入れ、ならびにMSCIのロゴ、商標、サービスマークまたはインデックス名称の使用は、MSCIまたはその関係会社によるヒューリック株式会社の後援、保証、販売促進ではありません。MSCIインデックスはMSCIの独占的財産です。MSCIインデックスの名称およびロゴはMSCIまたはその関係会社の商標またはサービスマークです。

FTSE Russell （FTSE International Limited と Frank Russell Companyの登録商標）はここにヒューリック株式会社が第三者調査の結果、FTSE Blossom Japan Index組み入れの要件を満たし、本インデックスの構成銘柄となったことを証します。FTSE Blossom Japan Indexはグローバルなインデックスプロバイダーであるftse Russellが作成し、環境、社会、ガバナンス（ESG）について優れた対応を行っている日本企業のパフォーマンスを測定するために設計されたものです。FTSE Blossom Japan Indexはサステナブル投資のファンドや他の金融商品の作成・評価に広く利用されます。

FTSE Russell (FTSE International Limited と Frank Russell Companyの登録商標)はここにヒューリック株式会社が第三者調査の結果、FTSE Blossom Japan Sector Relative Index組み入れの要件を満たし、本インデックスの構成銘柄となったことを証します。FTSE Blossom Japan Sector Relative Indexはサステナブル投資のファンドや他の金融商品の作成・評価に広く利用されます。